

目次

所属名称	施策名	事業番号	大事業名称	事業名	評価区分	ページ番号
健康推進課	高齢者福祉の推進	1691	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業	総合	1-2
健康推進課	健康づくりの推進	2102	保健衛生総務管理費	保健衛生総務経常管理費	簡易	3
健康推進課	地域医療の充実	2103	保健衛生総務管理費	保健衛生総務臨時管理費	簡易	4
健康推進課	健康づくりの推進	2110	愛育委員活動費	愛育委員活動費	総合	5-6
健康推進課	健康づくりの推進	2115	栄養委員活動費	栄養委員活動費	総合	7-8
健康推進課	地域医療の充実	2122	救急医療対策費	救急医療対策費	簡易	9
健康推進課	地域医療の充実	2186	各種団体補助金	苫田郡医師会補助金	総合	10-11
健康推進課	健康づくりの推進	2250	骨髄・末梢血幹細胞ドナー助成事業	骨髄・末梢血幹細胞ドナー助成事業	簡易	12
健康推進課	健康づくりの推進	2251	骨髄・末梢血幹細胞ドナー助成事業	骨髄・末梢血幹細胞ドナー事業所助成事業	簡易	13
健康推進課	健康づくりの推進	2320	予防接種費	予防接種費	簡易	14
健康推進課	健康づくりの推進	2321	予防接種費	肺炎球菌ワクチン予防接種事業	簡易	15
健康推進課	健康づくりの推進	2325	予防接種費	インフルエンザワクチン接種事業	簡易	16
健康推進課	健康づくりの推進	2326	予防接種費	成人の風疹予防接種事業	簡易	17
健康推進課	健康づくりの推進	2327	予防接種費	成人の風疹追加的対策事業	簡易	18
健康推進課	健康づくりの推進	2355	健康増進事業	がん検診等事業費	総合	19-20
健康推進課	健康づくりの推進	2356	健康増進事業	後期高齢者健康診査事業費	総合	21-22
健康推進課	健康づくりの推進	2381	感染症予防費	新型コロナウイルス予防費	簡易	23
健康推進課	健康づくりの推進	2382	感染症予防費	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費	簡易	24
健康推進課	健康づくりの推進	2383	感染症予防費	新型コロナウイルスワクチン接種事業費	簡易	25
健康推進課	健康づくりの推進	2384	感染症予防費	新型コロナウイルス予防接種健康被害給付事業費	簡易	26
健康推進課	健康づくりの推進	2385	地域自殺対策緊急強化基金事業費	地域自殺対策緊急強化事業費(普及啓発)	簡易	27
健康推進課	健康づくりの推進	2390	健康づくり推進事業費	健康づくり推進事業費	総合	28-29
健康推進課	健康づくりの推進	2392	健康づくり推進事業費	かがみの健康チャレンジ事業費	総合	30-31
健康推進課	健康づくりの推進	2394	健康づくり推進事業費	健康ポイント事業費	総合	32-33
健康推進課	地域医療の充実	21002	総務一般管理費	経常管理費	簡易	34
健康推進課	地域医療の充実	21018	総務一般管理費	臨時管理費	簡易	35
健康推進課	地域医療の充実	21011	賦課徴収管理費	賦課徴収経常管理費	簡易	36
健康推進課	地域医療の充実	21041	一般被保険者療養給付費	一般被保険者療養給付費	簡易	37
健康推進課	地域医療の充実	21046	退職被保険者等療養給付費	退職被保険者等療養給付費	簡易	38
健康推進課	地域医療の充実	21051	一般被保険者療養費	一般被保険者療養費	簡易	39
健康推進課	地域医療の充実	21056	退職被保険者等療養費	退職被保険者等療養費	簡易	40
健康推進課	地域医療の充実	21066	一般被保険者高額療養費	一般被保険者高額療養費	簡易	41
健康推進課	地域医療の充実	21071	退職被保険者等高額療養費	退職被保険者等高額療養費	簡易	42
健康推進課	地域医療の充実	21072	一般被保険者高額介護合算療養費	一般被保険者高額介護合算療養費	簡易	43
健康推進課	子育て支援の充実	21081	出産育児一時金	出産育児一時金	簡易	44
健康推進課	地域医療の充実	21086	葬祭給付費	葬祭給付費	簡易	45
健康推進課	地域医療の充実	21091	一般被保険者移送費	一般被保険者移送費	簡易	46
健康推進課	地域医療の充実	21094	傷病手当金	傷病手当金	簡易	47
健康推進課	健康づくりの推進	21134	特定健康診査等事業費	特定健康診査等事業費	総合	48-49
健康推進課	健康づくりの推進	21136	保健衛生普及費	保健衛生普及費	総合	50-51
健康推進課	地域医療の充実	21201	一般被保険者医療給付費分	一般被保険者医療給付費分	簡易	52
健康推進課	地域医療の充実	21202	退職被保険者医療給付費分	退職被保険者医療給付費分	簡易	53
健康推進課	地域医療の充実	21203	一般被保険者後期高齢者支援金等分	一般被保険者後期高齢者支援金等分	簡易	54
健康推進課	地域医療の充実	21205	介護納付金分	介護納付金分	簡易	55
健康推進課	地域医療の充実	22031	施設経常管理費	奥津直診施設経常管理費	簡易	56
健康推進課	地域医療の充実	22032	施設経常管理費	上齋原直診施設経常管理費	簡易	57
健康推進課	地域医療の充実	22033	施設経常管理費	上齋原歯科施設経常管理費	簡易	58
健康推進課	地域医療の充実	22034	施設経常管理費	富直診施設経常管理費	簡易	59
健康推進課	地域医療の充実	22035	施設経常管理費	富歯科施設経常管理費	簡易	60
健康推進課	地域医療の充実	22036	施設経常管理費	奥津歯科施設経常管理費	簡易	61
健康推進課	地域医療の充実	22057	岡山県へき地医療拠点病院運営事業費	岡山県へき地医療拠点病院運営事業費(奥津医科)	簡易	62
健康推進課	地域医療の充実	22503	歯科保健事業費	上齋原歯科施設保健事業費	総合	63-64
健康推進課	地域医療の充実	22505	歯科保健事業費	富歯科施設保健事業費	総合	65-66
健康推進課	地域医療の充実	22071	医療用機械器具費	奥津直診施設医療用機械器具費	簡易	67
健康推進課	地域医療の充実	22072	医療用機械器具費	上齋原直診施設医療用機械器具費	簡易	68
健康推進課	地域医療の充実	22073	医療用機械器具費	上齋原歯科施設医療用機械器具費	簡易	69
健康推進課	地域医療の充実	22074	医療用機械器具費	富直診施設医療用機械器具費	簡易	70
健康推進課	地域医療の充実	22075	医療用機械器具費	富歯科施設医療用機械器具費	簡易	71
健康推進課	地域医療の充実	22076	医療用機械器具費	奥津歯科施設医療用機械器具費	簡易	72
健康推進課	地域医療の充実	22081	医療用消耗器材費	奥津直診施設医療用消耗器材費	簡易	73
健康推進課	地域医療の充実	22082	医療用消耗器材費	上齋原直診施設医療用消耗器材費	簡易	74
健康推進課	地域医療の充実	22083	医療用消耗器材費	上齋原歯科施設医療用消耗器材費	簡易	75
健康推進課	地域医療の充実	22084	医療用消耗器材費	富直診施設医療用消耗器材費	簡易	76
健康推進課	地域医療の充実	22085	医療用消耗器材費	富歯科施設医療用消耗器材費	簡易	77
健康推進課	地域医療の充実	22086	医療用消耗器材費	奥津歯科診療所医療用消耗器材費	簡易	78

所属名称	施策名	事業番号	大事業名称	事業名	評価区分	ページ番号
健康推進課	地域医療の充実	22091	医薬品衛生材料費	奥津直診施設医薬品衛生材料費	簡易	7 9
健康推進課	地域医療の充実	22092	医薬品衛生材料費	上齋原直診施設医薬品衛生材料費	簡易	8 0
健康推進課	地域医療の充実	22093	医薬品衛生材料費	上齋原歯科施設医薬品衛生材料費	簡易	8 1
健康推進課	地域医療の充実	22094	医薬品衛生材料費	富直診施設医薬品衛生材料費	簡易	8 2
健康推進課	地域医療の充実	22095	医薬品衛生材料費	富歯科施設医薬品衛生材料費	簡易	8 3
健康推進課	地域医療の充実	22096	医薬品衛生材料費	奥津歯科施設医薬品衛生材料費	簡易	8 4
健康推進課	地域医療の充実	22101	検査料	奥津直診施設検査料	簡易	8 5
健康推進課	地域医療の充実	22102	検査料	上齋原直診施設検査料	簡易	8 6
健康推進課	地域医療の充実	22104	検査料	富直診施設検査料	簡易	8 7
健康推進課	地域医療の充実	26001	総務一般管理費	総務経常管理費	簡易	8 8

事業番号	事務事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
01691	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康指導支援係	担当者・シート作成者	池田 佳奈
	施策名	14 高齢者福祉の推進	根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	①生活習慣病重症化予防事業 事業内容: 令和6年度健診受診者のうち、血圧の数値が受診勧奨判定値以上である者を対象に、保健師の訪問による健康状態の確認・保健指導・受診勧奨の実施 ②身体的フレイル予防事業 事業内容: フレイル予防教室で実施する質問票の結果から対象を選定し、訪問による健康状態の確認・保健指導・受診勧奨の実施	令和2年度から、全国的に本事業が開始された。鏡野町は、令和5年度より事業化し、実施。本事業は、健診データ、後期高齢者の質問票、レセプト(医療・介護)情報から、高齢者の健康状態を把握、慢性疾患やフレイル予防・改善のための保健事業を行うことにより、できるだけ長く自立した生活を送れる高齢者の増加を目指すもの。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア ハイリスクアプローチ	ア 対象者数		見込			5	8	8
			実績			5		
イ ポピュレーションアプローチ	イ 教室参加者数		見込			40	100	100
			実績			32		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 支援が実施できる	ア 支援が実施できた者(実人数)		目標			5	8	8
			実績			5		
			達成率			100.0%		62.5%
イ フレイルについて理解できる	イ 理解できた者(実人数)		目標			32	100	100
			実績			32		
			達成率			100.0%		32.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 訪問による保健指導	ア 延支援回数(訪問・電話・通知)		目標			10	12	12
			実績			10		
			達成率			100.0%		83.3%
イ フレイル教室の実施	イ フレイル教室の延実施回数		目標			3	9	9
			実績			3		
			達成率			100.0%		33.3%
ウ			目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 65歳以上の町民	ア 地域で支えあう福祉活動を実践してもらう
イ	イ 住み慣れた地域で安心して暮らしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 03		項 01		目 04		大事業 23	中事業 01	予算上の事業名					事業番号 01691
	一般会計		民生費		社会福祉費		老人福祉費				3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財			21	600	600	21	その他特財			21	600	60	21			
一般財源				35	35		一般財源				35	35				
合計			21	635	635	21	合計(A)			21	635	95	21			
財源名称	後期高齢者医療広域連合受託収入						従事正職員人数				6	6	6	6		
							延べ業務事務時間				182	200	200	182		
							人件費計(千円)(B)				607	667	667	607		
	最終予算額		21 千円	予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)				628	1,302	762	628		

事業番号	01691	事務事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業	所管課名	健康推進課
------	-------	-------	-----------------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
令和5年度より本事業開始。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
令和5年度より、主管課の健康づくり部門だけでなく、総合福祉課、地域包括支援センター、社会福祉協議会各関係機関と情報共有し、実施している。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
フレイル予防の大切さを知れた。フレイル予防に取り組もうと思う。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 町の最重点施策に健康づくりの推進があるが、本事業は、高齢者の健康づくりの役割を担っている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 令和5年度時点で、県内約8割に自治体の本事業を岡山県後期高齢者広域連合の委託を受け実施している。令和6年度には県内すべての自治体を実施予定。岡山県後期高齢者広域連合から受託収入を得ている。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 75歳以上の後期高齢者を対象に実施しており、適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 令和5年度より実施しており、まだ芽生えている段階である。健診結果の分析、町民や関係機関の声をひろいながら、鏡野町の後期高齢者に寄り添った事業として発展させていく必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 本事業に代わる高齢者の保健事業がないため。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 ④と同様、発展途上の事業であり、実際に地域を担当する保健師の意見や関係機関がすでに取り組んでいること等を包括的にみながら、本事業が効果的な内容となるよう検討していきたい。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 最低限の事業費で実施し、また受託収入を得ながら実施している。事業費削減は難しい。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 最低限の職員の対応しており、削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 75歳以上の後期高齢者を対象に実施しており、公平・公正である。	

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	特定健診の対象年齢である40~74歳への支援が切れ目なくできるよう、75歳以上の高齢者への健康づくり・フレイル予防の支援を実施し、在宅で自立した生活がおくれる高齢者が増えていくよう本事業を推進している。支援対象者の把握や当該者の抱えるニーズに応じて、必要なサービスにつなげることができるよう、介護保険担当課や地域包括支援センター、社会福祉協議会とも連携を強化していく。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 後期高齢者健診、後期高齢者の質問票のデータ分析を行い、健康課題・ニーズ分析を実施し、効果的な内容で推進していけるよう検討する。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
ハイリスクアプローチの支援内容やポピュレーションアプローチの内容を、鏡野町の健康課題に即した内容で実施していけるよう見直しを行う。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							

事業番号	事務事業名	保健衛生総務経常管理費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
02102	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康指導支援係	担当者・シート作成者
	施策名	12	健康づくりの推進	根拠法令等	岡山県津山・英田圏域病院群病院運営費補助金に関する規	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	消耗品費(コピー代・参考図書・健康情報誌)支払い 旅費支払い 保健センター修繕依頼および支払い 通信運搬費の支払い 備品購入準備および支払い 各種負担金の支払い	H18年8月31日に従来の「県北地域医療推進対策協議会」が解散。「二次救急医療運営補助金」に名称が変更。津山市が事務局:負担金を支払っている。昭和54年に県内の保健師相互の連絡調整を図り、資質向上に努めている。(市町村栄養士も同様昭和54年の設立)

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	職員	→	ア	人	見込	13	14	12	13	13
					実績	13	13	13		
イ		→	イ	人	見込	1	1	1	1	1
					実績	1	1	1		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	専門職としての知識の習得	→	ア	回	目標	10	10	10	10	10
					実績	13	6	17		
					達成率	130.0%	60.0%	170.0%		170.0%
イ	二次救急医療を受けてもらう	→	イ	施設	目標	2	2	2	2	2
					実績	2	2	2		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	研修会参加	→	ア	人	目標	32	32	32	32	32
					実績	19	39	43		
					達成率	59.4%	121.9%	134.4%		134.4%
イ	カレンダー作成	→	イ	回	目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0		
					達成率	-	-	-		-

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 01		大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		保健衛生総務費		01	03	保健衛生総務経常管理費					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財		466				-466			
一般財源	1,077	1,066	882	9,669	9,699	-184	一般財源	940	321	802	9,669	9,669	481			
合計	1,077	1,066	882	9,669	9,699	-184	合計(A)	940	787	802	9,669	9,669	15			
財源名称	一般財源						従事正職員人数	2	2	1	1	1	-1			
							延べ業務事務時間	10	10	10	10	10				
							人件費計(千円)(B)	34	34	33	33	33	-0			
	最終予算額		882 千円		予算執行率	90.9%		トータルコスト(A+B)	974	821	835	9,702	9,702	15		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	コロナ禍が明け保健活動に必要な研修参加への参加など積極的に行えた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	保健衛生総務臨時管理費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
02103	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	担当者・シート作成者	石原 靖之
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	エネルギー・食料費価格の高騰の影響を受けている町内の医療機関(内科、歯科)に対し、事業者の負担軽減を図り、医療提供体制を維持することを目的としている。	令和5年4月に(一社)岡山県病院協会からの要請があったため

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町内医療機関	ア 施設数	件	見込 実績			9 9		
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 安定した医療の提供	ア 廃業する事業所	件	目標 実績 達成率			0 0 -		
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 補助金の交付	ア 交付件数		目標 実績 達成率			9 9 100.0%		
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 01		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		保健衛生総務費		保健衛生総務臨時管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金		2,589			2,589	国庫支出金			2,589			2,589		
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源						一般財源								
合計		2,589			2,589	合計(A)			2,589			2,589		
財源名称	令和5年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生				従事正職員人数				1			1		
	臨時交付金				延べ業務事務時間				8			8		
					人件費計(千円)(B)				27			27		
	最終予算額	2,589 千円	予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)				2,616			2,616	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	今回は医療機関のみを対象としたが、調剤薬局やあんま・はり・きゅうなどの事業所への補助も必要であった。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	見直し余地がある	

事業番号	事務事業名	愛育委員活動費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之	
02110	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康指導支援係	担当者・シート作成者	甲藤 恵理子
	施策名	12	健康づくりの推進	根拠法令等	鏡野町愛育委員会規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	令和5~7年度任期の初年度にあたるため、愛育委員148名に委嘱を行い、研修会を年3回実施した。愛育委員活動の取り組みが「健康づくりの樹」に基づき発展的に行えるよう、幹事会において3年間の研修計画の承認を得て、計画に基づき委員への研修を実施。研修後は、委員が学んだ内容を地区活動に展開できるよう内容をまとめたチラシを作成し提供、声かけ訪問に活用した。たばこ対策事業、結核予防週間街頭キャンペーン、献血推進活動、健康づくりイベント等、コロナ5類移行後、多くの事業に取り組んだ。	母子保健活動は明治時代に始まった。昭和25年に岡山県内で初の組織が誕生。現在は母子保健活動を含めた住民の健康づくりの活動へと変わっている。「自分の健康は自分でつくる」「誰もが安心して暮らせる地域づくり」等の推進を行っている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 愛育委員受け持ち地区民	ア 人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
			実績	12,497	12,358	12,116		
イ 委員	イ 委員数	人	見込	154	154	148	147	147
			実績	154	154	148		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 健康に関する意識が高まり、健康で明るい生活を送れるようにする	ア 訪問、声かけの件数(愛育委員活動記録)	%	目標	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
			実績	4,207	4,240	6,042		
			達成率	84.1%	84.8%	120.8%		120.8%
イ 地域に暮らす人を意識し、行政とのパイプ役となる	イ 研修会等の参加率	%	目標	80	80	80	80	80
			実績	75	66	76		
			達成率	93.8%	82.5%	95.4%		95.4%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 研修会、禁煙・結核予防活動、地区健康教室	ア 町研修会、禁煙・結核予防・献血推進活動、健康づくり活動等の回数	回	目標	15	15	15	15	15
			実績	5	6	15		
			達成率	33.3%	40.0%	100.0%		100.0%
イ 地域の行事等への参加(令和4年度実績から地域の行事への参加状況を計上)	イ 地域の行事への参加・協力(地区での健康教室、つどい、地区行事)	回	目標	33	33	400	400	400
			実績	0	251	443		
			達成率	0.0%	760.6%	110.8%		110.8%
ウ 理事会での協議事項を検討し町の活動方向の決定	ウ 会議(理事会および幹事会)開催数	回	目標	9	9	9	9	9
			実績	8	11	10		
			達成率	88.9%	122.2%	111.1%		111.1%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 01		大事業 中事業 02 01	予算上の事業名					事業番号 02110
	一般会計		衛生費		保健衛生費		保健衛生総務費			愛育委員活動費					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	412	466	3,437	3,420	3,400	2,971	一般財源	250	276	3,359	3,350	3,350	3,083		
合計	412	466	3,437	3,420	3,400	2,971	合計(A)	250	276	3,359	3,350	3,350	3,083		
財源名称							従事正職員人数	2	2	2	2	2	2		
							延べ業務事務時間	115	120	130	140	140	10		
							人件費計(千円)(B)	393	403	434	467	467	30		
	最終予算額	3,437 千円		予算執行率	97.7%		トータルコスト(A+B)	643	679	3,793	3,817	3,817	3,113		

事業番号	02110	事務事業名	愛育委員活動費	所管課名	健康推進課
------	-------	-------	---------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
高齢化や就業者の増加により、委員の選出が難しくなっており、令和5年度の改選で154→148人に減少した。造成地やアパートの増加、表札のない家、地域と交流の少ない住民も増え、地域が見えにくい現状となっている。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
委員研修を行い、自分や家族の健康について考えると共に、学んだ知識を地域での活動に活かし展開するため、地区活動で活用するチラシの作成や健康教室の共催など委員と協力して活動を行っている。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
令和5年度の改選で委員のなり手がおらず、選出できなかった地区は、周辺の委員で補い合って活動している状況。また、コロナ禍で活動も少なくなったことから、地域や仕事量に応じた人数にすることも考えてほしいとの意見がある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 全ての世代の住民に対して、町の最重点施策である健康づくりを推進することは施策に結びついている。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 町の最重点施策である健康づくりの推進をより活発に進めるためにも、地区住民である身近な愛育委員が健康づくりに関する活動や情報発信を行い、行政との2本柱で活動していく必要がある。また町は、委員の組織育成を行うため、関与は妥当である。	
③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 全住民を対象としており適切である。令和5年度は1年目であるため、今後は委員が地区住民を対象に健康づくりの活動を行っているという意識を持ち、活動を展開していく必要がある。	
有効性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 地域づきあいの希薄化や住宅状況の変化等で、地域の実情がわかりにくくなっている。また、コロナ禍を経て、行事が徐々に再開してきているが、委員改選もあった為、愛育委員活動も新しい形で展開していく必要があり、成果向上の余地がある。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 健康づくりは、地域全体で進めていくことが不可欠である。行政が担えない地域の行事など細部での活動を行っており、より身近な存在である愛育委員が地域での目配り気配り声かけ活動を行い、健康づくりの担い手として、行政と協働しているため廃止による影響がある。	
⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 委員を取り巻く状況の変化があるため、幹事会や地区委員会などで活動内容の確認を行い、現状に即した形での活動方法を相談しながら、より良い方法で改善を図る。	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 令和5年度においては、保健所長や町職員・社会福祉協議会講師を選定し、講師料の削減を図った。委員報酬を令和5年度から「愛育・栄養委員人件費」から「愛育委員活動費」にうつし、会長30,000円、幹事25,000円、委員20,000円に削減した為、大きな事業費の削減につながり、これ以上の削減は困難。
⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 事務局担当職員で協力し、最小限の時間での事務効率化を図っている。行事が重なった場合も、健康推進課職員で協力して事業を行っている。また地区活動については、地区担当保健師が中心となり活動し、委員からの健康教室など依頼に応じて対応するため、要望に応じて業務時間は変動する。	
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 区長推薦により地区から委員の選出がなされており、受益機会は公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり		愛育委員という組織により、地域での細やかな目配り気配り声かけ活動が展開されており、健康づくりの推進を行政と両輪となり行っている。コロナ禍以降、多くの行事が再開となり、県・保健所管内・町の委員活動だけでなく、公民館や老人会などの地区組織などに協力し、健康づくりの普及啓発活動を行っている。																							
B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																									
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																									
D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																									
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 令和5年度が初年度であったため、2年目以降はより細やかに声かけ活動を行ったり、地区での健康教室開催や他の地区組織と協働して健康づくりの推進活動をより充実したものにしていけるよう、幹事会や委員個人と相談しながら改善を行う。																							
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>▽</td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			△		低下			▽
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			△																					
	低下			▽																					
幹事会や地区委員会などで、委員の意見を聞き、協議をしながら活動を展開していく。事務局としては、幹事会での決定事項を地区担当保健師や委員に周知しながら、活動の見える化を行う他、年3回の研修機会を活用し、委員の育成を行っていく。																									

事業番号	事務事業名	栄養委員活動費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
02115	政策名	1	係名		担当者・シート作成者	吉田 怜未
	施策名	12	根拠法令等	鏡野町栄養委員会規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	栄養委員の活動としては、町主催の栄養教室や県主催の研修会への参加、公民館事業の協力、地区活動への参加等があり、地区住民に対して食を通じた健康づくり活動を行う。〈業務内容・手順など〉栄養委員が地区で健康づくりの普及啓発を行えるよう、栄養委員の組織育成(栄養教室の企画・運営)を行い、学んだことを地区へ伝達する地区活動を行えるよう援助を行う。 令和5年度は新型コロナウイルス感染症の流行も収まりつつあり、地区サロンでの健康教室、地区行事での普及啓発、お弁当配布等の地区活動を実施した。	昭和33年山陽町に栄養改善組織が誕生。以降各市町村へ広がった。「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに町民一人ひとりが充実した豊かな人生を過ごせるよう食生活改善活動や健康づくりのための運動活動を行う健康づくりボランティア。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
			実績	12,497	12,358	12,116		
イ 栄養委員	イ 栄養委員数	人	見込	128	128	122	122	122
			実績	128	127	122		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 生活習慣病を予防し、健康に生活を送ってもらう	ア 地区での声掛け、訪問、集会への参加者	人	目標	3,000	4,000	3,500	6,000	6,000
			実績	3,275	3,563	5,924		
			達成率	109.2%	89.1%	169.3%		98.7%
イ 栄養や食生活習慣についての知識や関心を深めてもらう	イ 栄養教室の受講率	%	目標	80	80	80	80	80
			実績	81	77	72		
			達成率	101.3%	96.3%	90.0%		90.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 地域での健康づくり普及啓発活動	ア 地区活動の実施回数	回	目標	768	768	768	1,500	1,500
			実績	1,254	990	1,433		
			達成率	163.3%	128.9%	186.6%		95.5%
イ 栄養委員の組織育成	イ 栄養委員研修会等への参加者人数	人	目標	350	350	350	350	350
			実績	104	317	364		
			達成率	29.7%	90.6%	104.0%		104.0%
ウ	ウ 栄養教室開催回数	回	目標	3	3	3	3	2
			実績	1	3	3		
			達成率	33.3%	100.0%	100.0%		150.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 01		大事業	中事業	予算上の事業名					事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		保健衛生総務費		03	01	栄養委員活動費					02115
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	713	852	3,265	3,314	3,314	2,413	一般財源	326	705	3,011	3,314	3,314	2,306			
合計	713	852	3,265	3,314	3,314	2,413	合計(A)	326	705	3,011	3,314	3,314	2,306			
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1	1				
	延べ業務事務時間						960	810	754	700	650	-56				
	人件費計(千円)(B)						3,284	2,723	2,515	2,335	2,168	-209				
	最終予算額		3,265 千円		予算執行率		92.2%		トータルコスト(A+B)		3,610	3,428	5,526	5,649	5,482	2,097

事業番号	02115	事務事業名	栄養委員活動費	所管課名	健康推進課
------	-------	-------	---------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
高齢化や働き世代の委員増加により、委員選出や栄養教室(研修会)の参加が難しい。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
選出委員数を地区の実情に応じて減少。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
委員の担い手が少ない。愛育委員と栄養委員を合同にしているか。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか?意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 健康な日々を過ごすためには一人一人の健康問題を地域みんなで解決しようとする活動が必要である。本人だけでなく、家族、友人、ご近所さんへと働きかけ、仲間とふれあいを通じて地域ぐるみで健康を目指していくことは町の施策に結びついている。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか?税金を投入して行うべき事業か?住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明	行政機関の行う事業・行事の参画、住民や他団体との協働の2本柱で住民の健康づくりに取り組んでおり、妥当である。
③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明	全町民を対象としており、妥当である。
有効性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか?成果を向上させる有効な手段はないか?何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 新型コロナウイルス感染症の流行も収まり、地区活動が再開したことにより、栄養委員活動(声かけ・訪問・教室など)が増加した。今後も委員活動が継続できるよう、研修会や地区へ出向き委員活動を補助していく。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は?目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明	健康づくりは地域づくりを進めていくことが不可欠である。栄養委員活動は、行政が行えない地域の細部で活動を行っており、より身近な食を通じた健康づくりの担い手として、健康づくりの推進を行っているため。
⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明	理事会や県・管内研修会で他市町村の活動内容を参考に、町幹事に委員と共に栄養委員活動について協議し、改善を行う。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 愛育委員と合同の研修会の開催や、他課との連携等により、一部事業費の削減余地はある。
⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明	栄養委員活動は栄養士だけでなく、地区担当保健師、愛育委員、地区住民等と協力し、活動を行うことが多い。栄養委員と共に地区の現状に沿ったより良い活動を進めていくため民間委託等による削減は難しい。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体ではなく、一部の受益者に偏っていないか?受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 地域から栄養委員を選出し、全町民を対象に行っており、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	栄養委員の活動は、行政だけでは行えない地域の細部での活動を補うことができる。栄養委員と地域の結びつきをより密にし、正しい食生活の取り組みを行うことにより、健康に対する知識を高め、鏡野町の健康水準の向上につなげることができる。令和5年度は委員1年目にも関わらず、地区活動数が昨年度を上回る成果となった。今後も栄養委員研修会等を通じて、自身が活動を見出せるよう、活動の補助を行うことが必要。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 令和6年度は現委員が任期2年目の年となる。令和5年度に引き続き、委員の資質の向上に努め、委員の地区委員活動を通して、住民一人一人の健康に対する意識の向上を図る。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
情勢に応じた変化が求められる中で委員が継続して活動できるよう、栄養教室や研修会を通して委員と協力して栄養委員活動について検討していく必要がある。																									

事業番号	事務事業名	救急医療対策費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
02122	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	在宅当番・救急医療情報提供実施事業運営委託契約書休日	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	鏡野町と苫田郡医師会が、地域住民の救急医療の確保を図るために、在宅当番・救急医療情報提供実施事業を行っている。この事業の運営に必要な事業(休日の診療を行う在宅当番医の当番日の調整事業及び在宅当番医の実施事業)を委託し、委託料を支払っている。休日の医療を確保するため、苫田郡医師会へ依頼し、休日当番表により診療した回数に負担金を出している。	休日において、急な病気やけがに対応するため、苫田郡内の医療機関が持ち回りで当番医を決めている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
イ	イ		実績	12,497	12,358	12,116		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 二次救急医療を受けてもらう	ア 二次救急医療機関の数	施設	目標	2	2	2	2	2
イ	イ		実績	2	2	2		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 負担金支払	ア 負担金支払回数	回	目標	1	1	1	1	1
イ	イ		実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 01		大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		保健衛生総務費		07 01		救急医療対策費					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比				
国庫支出金						国庫支出金										
県支出金						県支出金										
町債						町債										
その他特財						その他特財										
一般財源	7,900	7,900	7,829	7,829	7,829	-71	一般財源	7,684	7,036	7,756	7,829	7,829	720			
合計	7,900	7,900	7,829	7,829	7,829	-71	合計(A)	7,684	7,036	7,756	7,829	7,829	720			
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1				
							延べ業務事務時間	4	4	4	4	4				
							人件費計(千円)(B)	14	13	13	13	13	-0			
	最終予算額	7,829 千円	予算執行率	99.0%		トータルコスト(A+B)	7,698	7,049	7,769	7,842	7,842	720				

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	医師の高齢化等により、医療機関に対する休日当番制への負担が大きくなり、令和5年度に1回町内医療機関での当番日がない日が生じた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	苦田郡医師会補助金	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
02186	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名		担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	地域医療の安定・向上のため、苦田郡医師会の研究援助として補助金を助成している。	開始時期は不明であるが、旧苦田郡医師会から引き続いて支出されている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 苦田郡医師会	→	ア 医師会団体数	団体	見込	1	1	1	1	1
イ	→			実績	1	1	1		
	→			見込					
	→			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 医療技術や知識の向上を図ってもらう	→	ア 研究等活動回数	回	目標	1	1	1	1	1
イ	→			実績	1	1	1		
	→			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
	→			目標					
	→			実績					
	→			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 補助金の支払	→	ア 支払回数	回	目標	1	1	1	1	1
イ	→			実績	1	1	1		
	→			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
	→			目標					
	→			実績					
	→			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 01		大 17	中 02	予算上の事業名					事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		保健衛生総務費				苦田郡医師会補助金					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	139	139	139	139	139		一般財源	139	139	139	139	139				
合計	139	139	139	139	139		合計(A)	139	139	139	139	139	0			
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1				
							延べ業務事務時間	1	1	1	1	1				
							人件費計(千円)(B)	3	3	3	3	3	-0			
	最終予算額	139 千円	予算執行率	100.0%			トータルコスト(A+B)	142	142	142	142	142	-0			

1枚目

事業番号	02186	事務事業名	苫田郡医師会補助金	所管課名	健康推進課
------	-------	-------	-----------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
特になし
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
特になし
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
特になし

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 医師の研究等の充実のために支出しており、地域医療の充実に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 医師の研究等の充実のために支出しており、地域医療の充実に結びついている。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 対象等の拡充の余地はない。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 医療技術は日進月歩であり、更なる研究等の機会を増やす必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 成果への影響は不明であるが、行政と医師会との連携面で感情的な問題が生じる可能性はある。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 方法・手段の改善余地はない。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 医師会との協議が必要であり、現状では削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 現状では最小限の時間で対応している。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 地域医療を担う医師会への補助金であり、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	在宅医療の推進、介護・医療の連携及び地域包括ケアシステムの構築等に中心的な役割を果たしている医師会への補助金であり、現状維持とする。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 地域包括ケアシステム鏡野版の構築に向け、研修等を更に推進する。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
医師会の協力が不可欠である。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							

事業番号	事務事業名	骨髄・末梢血幹細胞ドナー助成事業	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
02250	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康指導支援係	担当者・シート作成者	田中 幸枝
	施策名	12 健康づくりの推進	根拠法令等	移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	1、制度の周知(広報紙・ホームページへの掲載) 2、日本骨髄バンクが実施する事業において骨髄の提供が終了した者が対象者 3、町内に住所があるドナーへの助成事業 ・通院1日当たり 5,000円×日数 ・入院1日当たり20,000円×日数 (1回の骨髄等の提供につき10万5千円を限度)	白血病や再生不良性貧血などの難病治療には骨髄・末梢血幹細胞の移植が必要。しかしドナー登録後、仕事などの理由で提供まで至らない現状があるため、提供しやすい環境を創る必要がある。H28年4月県が助成制度を開始。県内すべての市町村で制度を作るように県からの要望があった。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民(18歳以上54歳以下)	ア 登録者該当人口(4月1日)外国人含む	人	見込 実績	4,493 4,493	4,500 4,478	4,500 4,399	4,500	4,500
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 骨髄ドナー登録者になってもらう	ア 岡山県内の登録者(年度末) 都道府県別登録者数:日本骨髄バンクネット検索。市町村別は個人情報関係で不明	人	目標 実績 達成率	9,401 9,401 100.0%	9,567 9,567 100.0%	9,600 9,549 99.5%	9,700	9,700
イ	イ 町民のドナー提供者数(町の助成事業を活用しての)	人	目標 実績 達成率	1 0 0.0%	1 0 0.0%	1 0 0.0%	1	1

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 啓発活動	ア 広報紙・町のホームページ等への掲載	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 0 0.0%	1 1 100.0%	1	2
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 04 衛生費		項 01 保健衛生費		目 01 保健衛生総務費		予算上の事業名					事業番号
	25		01		骨髄・末梢血幹細胞ドナー助成事業					02250				
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金	52	52	52	52	52	県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	53	53	53	53	53	一般財源								
合計	105	105	105	105	105	合計(A)						0		
財源名称	岡山県骨髄・末梢血幹細胞ドナー助成費補助金						従事正職員人数	1	1	1				
							延べ業務事務時間	8	8	16			8	
							人件費計(千円)(B)	27	27	53			26	
	最終予算額		105 千円		予算執行率		0.0%		トータルコスト(A+B)		27	27	53	26

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	助成制度を開始し初めて、提供者候補に至った町民より相談を受けたが、最終的に提供・申請には至らなかった。今後も申請の可能性があるため、助成制度は継続しつつ、年1度広報だけではなく、より積極的に制度の周知を行うていく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	骨髄・末梢血幹細胞ドナー事業所助成事業	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
02251	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康指導支援係	担当者・シート作成者	田中 幸枝
	施策名	12 健康づくりの推進	根拠法令等	移植に用いる造血幹細胞の適切な推進に関する法律		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	1、制度の周知(広報紙・ホームページ掲載) 2、日本骨髄バンクが実施する事業において骨髄の提供が終了した者が対象 3、町内に住所があるドナーを雇用している国内の事業所への助成事業 ・休業1日当たり、1万円(9日間) ドナーが事業所に言わない限りわからないケースもある。 4、岡山県骨髄・末梢血幹細胞ドナー助成補助金の交付申請(1/2の補助)	白血病や再生不良性貧血などの血液の難病治療には、骨髄・末梢血幹細胞の移植が必要。しかしドナー登録後、仕事などの理由で骨髄の提供まで至らない現状があるため、提供しやすい環境を創ることが必要。H28年4月、岡山県が助成制度を開始。県内すべての市町村で制度を創るよう県から要望があった。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民(18歳以上から54歳以下)	ア 登録者該当年齢人口(4月1日)外国人含む	人	見込 実績	4,394 4,394	4,500 4,478	4,500 4,399	4,500	4,500
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア ドナー登録者になってもらう	ア 町民のドナー提供者数(町の助成事業を活用しての)	人	目標 実績 達成率	1 0 0.0%	1 0 0.0%	1 0 0.0%	1	1 0.0%
イ	イ 事業所からの申請数		目標 実績 達成率	1 0 0.0%	1 0 0.0%	1 0 0.0%	1	1 0.0%

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 啓発活動	ア 広報紙・ホームページ等掲載		目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 0 0.0%	1 1 100.0%	2	2 50.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 01		中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		保健衛生総務費		25	02	骨髄・末梢血幹細胞ドナー事業所助成事業					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比				
国庫支出金						国庫支出金										
県支出金	45	45	45	45	45	県支出金										
町債						町債										
その他特財						その他特財										
一般財源	45	45	45	45	45	一般財源										
合計	90	90	90	90	90	合計(A)								0		
財源名称	岡山県骨髄末梢血幹細胞ドナー助成費補助金					従事正職員人数	1	1	1							
						延べ業務事務時間	8	8	16					8		
						人件費計(千円)(B)	27	27	53					26		
	最終予算額		90 千円	予算執行率	0.0%		トータルコスト(A+B)	27	27	53					26	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	助成事業を開始して初めて、勤務する事業所に対しての助成相談があった。今回は申請まで至らなかったが、今後も引き続き、対応できるような県と協力しながら体制の維持を継続を図る必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	予防接種費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
02320	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	保健指導支援係	担当者・シート作成者
	施策名	12	健康づくりの推進	根拠法令等	予防接種法	光嶋 康子

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	目的: 感染予防・発病防止・症状の軽減・病気のまん延防止 種類: B型肝炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、BCG、麻しん風しん、水痘、日本脳炎、二種混合、ポリオ、子宮頸がん予防ワクチン(2価・4価に加えR5.4~9価も認可)、高齢者用肺炎球菌ワクチン、ロタ(R2. 10~) 接種方法: 医療機関で個別接種。県内相互乗り入れ制度で県内接種可能。県外接種の場合は償還払対応。 内容・手順など: 予防接種年間計画の作成・町内予防接種委託医療機関・県	感染症がまん延し大きな被害を与えた時代があり、感染症予防、発病防止目的で全国的に予防接種を実施。積極的な接種勧奨により、感染症は減少傾向となる。現在定期の予防接種は市町村長が行うこととなっている。現在も新しい予防接種が定期化となっている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 定期予防接種の対象者	ア 生後90か月未満の者	人	見込 実績		700 846	800 689	800	
イ	イ 年度内に65歳を迎える者	人	見込 実績	200 201	200 301	310 189	320	
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 感染及び発症の予防、病気のまん延防止	ア 麻しん風しん混合(MR)2期接種率	%	目標 実績 達成率	95 82 86.3%	95 91 95.8%	95 80 84.2%	95	
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 通知・広報(対象者への周知)	ア 各予防接種の接種者数(延)の合計	人	目標 実績 達成率	2,800 2,509 89.6%	2,800 5,697 203.5%	5,500 5,099 92.7%	5,500	
イ 医療機関・医師会との調整	イ 医療機関・医師会との調整回数	回	目標 実績 達成率	22 18 81.8%	22 18 81.8%	22 20 90.9%	22	

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		予防費		予防接種費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金	1,250							
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	24,731	26,584	27,265	28,000	681	一般財源	23,259	26,297	27,265	28,000	28,000	968		
合計	24,731	26,584	27,265	28,000	681	合計(A)	24,509	26,297	27,265	28,000	28,000	968		
財源名称	従事正職員人数						9	2	2	2	2			
	延べ業務事務時間						450	450	500	550	550	50		
	人件費計(千円)(B)						1,539	1,513	1,668	1,834	1,834	155		
	最終予算額	27,265 千円	予算執行率	100.0%			トータルコスト(A+B)	26,048	27,810	28,933	29,834	29,834	1,123	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	・対象者には4月に問診票と案内を送付しているが、追加説種が期間が空いてしまうと忘れがちである為、広報や個人通知等で啓発していく。子宮頸がんのキャッチアップが令和6年度で終了となるため、令和6年度には未接種者に再通知を送付する。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	肺炎球菌ワクチン予防接種事業	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
02321	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	保健指導支援係	担当者・シート作成者	光嶋康子
	施策名	12 健康づくりの推進	根拠法令等	鏡野町肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業実施要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H26 年度~ 令和5 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	肺炎球菌による肺炎予防のために、接種費用の助成(1人生涯1回限り、8,770円)を行う。任意接種。助成を希望する者の事前申請手続き(平成23年1月より肺炎球菌システム利用、情報公社へ委託し毎月11,000円支払)が必要。町外医療機関医で接種した場合は償還払い。	日本の死因で肺炎は3位である。肺炎球菌は日常生活でかかる「肺炎」の25~40%であり、高齢者の重症化を防ぎ、肺炎死亡リスクを減少させるため開始。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 65歳以上の高齢者	ア 65歳以上の被接種対象者数	人	見込 実績	700 871	700 544	700 876		
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 肺炎球菌による肺炎感染を予防	ア 被接種者数	人	目標 実績 達成率	30 224 746.7%	50 180 360.0%	150 202 134.7%		
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 申請・助成券発行受付	ア 申請・助成券発行数	件	目標 実績 達成率	30 10 33.3%	50 9 18.0%	50 57 114.0%		
イ 広報活動	イ 健康教室等でのPR回数	回	目標 実績 達成率	10 0 0.0%	10 0 0.0%	10 2 20.0%		

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		予防費		肺炎球菌ワクチン予防接種事業					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町 債						町 債								
その他特財						その他特財								
一般財源	429	440	737		297	一般財源	176	211	737			526		
合計	429	440	737		297	合計(A)	176	211	737			526		
財源名称					従事正職員人数		7	2	2					
					延べ業務事務時間		70	75	80			5		
					人件費計(千円)(B)		239	252	267	#VALUE!	#VALUE!	15		
	最終予算額		737 千円	予算執行率		100.0%	トータルコスト(A+B)		415	463	1,004	#VALUE!	#VALUE!	541

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	・平成26年度から65歳から5歳刻みで実施していたワクチンだが10年間の経過措置を終了し65歳からの定期接種として令和6年度からは実施される。最終年度は広報紙や病院にポスター掲示するなど啓発に努めた結果多くの方が接種することができた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	インフルエンザワクチン接種事業	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
02325	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康指導支援係	担当者・シート作成者	光嶋 康子
	施策名	12 健康づくりの推進	根拠法令等	鏡野町定期予防接種実施要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	季節性インフルエンザワクチン接種の接種費用助成。接種により、個人予防に努め集団流行を防ぐことを目的とする。接種時期は10月1日～1月31日。H29年度から全額助成とした(現4,200円)。R2年度のみ新型コロナウイルス感染症流行により県の助成事業があった。R2年度より津山市と相互乗り入れ契約を行い利用者の利便性と事務処理の軽減を図った。	平成13年予防接種法一部改正により、高齢者(65歳以上)を対象とするインフルエンザワクチンを予防接種法に基づく予防接種として行うこととなった。平成21年には、新型インフルエンザの流行により、ワクチンも追加され、平成23年度からは通常の季節性インフルエンザに変更。乳幼児については、平成17年より被接種者への助成を町独自で開始。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 乳幼児から中学生まで	ア 乳幼児から中学生まで	人	見込	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
			実績	1,563	1,659	1,220		
イ B類定期対象者(65歳以上)	イ B類定期対象者(65歳以上)	人	見込	4,788	4,720	4,720	4,720	4,720
			実績	4,507	4,762	4,699		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 感染及び発症の予防、まん延防止	ア 接種率(乳幼児から中学生まで)	%	目標	57	57	57	57	50
			実績	53	41	33		
			達成率	92.5%	72.6%	58.7%		66.9%
イ	イ 接種率(B類定期対象者:65歳以上)	%	目標	60	60	60		
			実績	70	67	68		
			達成率	116.8%	111.7%	112.6%		-
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 通知・広報(対象者への周知)	ア 被接種者延数	人	目標	4,800	4,800	4,800	4,300	4,300
			実績	4,646	3,142	3,584		
			達成率	96.8%	65.5%	74.7%		83.3%
イ 医療機関・医師会との調整	イ 医療機関・医師会との調整	回	目標	9	9	9	9	9
			実績	9	9	9		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		予防費		インフルエンザワクチン接種事業					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金		16,226	14,861	14,700	14,700	-1,365		
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	19,174	19,999	19,568	19,320	19,320	-431	一般財源	19,162	1,977	1,847	19,320	19,320	-130	
合計	19,174	19,999	19,568	19,320	19,320	-431	合計(A)	19,162	18,203	16,708	34,020	34,020	-1,495	
財源名称	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				従事正職員人数	2	2	2	2	2				
					延べ業務事務時間	150	160	160	170	170				
					人件費計(千円)(B)	513	538	534	567	567		-4		
	最終予算額	19,568 千円	予算執行率	85.3%	トータルコスト(A+B)	19,675	18,741	17,242	34,587	34,587		-1,499		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	・広報も行ったが、コロナが流行していたこともあり、同時接種や医療機関で接種を確認され勧められる事が多くの方が受診された。
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	成人の風疹予防接種事業	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
02326	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	指導支援係	担当者・シート作成者	光嶋 康子
	施策名	12 健康づくりの推進	根拠法令等	鏡野町風しん任意予防接種費用助成事業実施要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	医療機関で無料抗体検査(岡山県事業)を受けた結果、または過去の妊婦健診等の結果、風しんの抗体価が低い方を対象に、風しんワクチンまたは麻しん風しん混合(MR)ワクチンを無料接種。町内医療機関で接種の場合は医療機関から町へ支払請求、町外の場合は接種者が全額自己負担後、町へ償還給付申請の提出が必要。	平成25年、風しんが全国的に流行した。妊娠初期の妊婦が罹患すると胎児が心疾患・白内障・難聴などの障害を持つ「先天性風しん症候群」となる可能性があり、予防のためには風しんワクチンの接種が不可欠である。風しん予防接種は生年により接種率が低いか、接種の機会すらなかった年代もあり、岡山県は平成26年度から風しんの無料抗体検査を実施している。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 妊娠を希望している女性	ア 母子健康手帳交付者数	人	見込 実績	90 75	90 83	90 73	80	80
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 先天性風しん症候群の発生予防	ア 岡山県事業による抗体検査実施者数	人	目標 実績 達成率	30 11 36.7%	30 6 20.0%	30 13 43.3%	25	25
イ 風しんの流行を予防	イ 風しんワクチン等接種(助成)者数	人	目標 実績 達成率	20 8 40.0%	20 15 75.0%	20 9 45.0%	15	15
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 広報活動	ア 広報誌等掲載回数	回	目標 実績 達成率	2 1 50.0%	2 1 50.0%	2 1 50.0%	2	2
イ 啓発活動	イ 妊娠届出時、赤ちゃん訪問時等での啓発人数	人	目標 実績 達成率	180 164 91.1%	180 140 77.8%	140 163 116.4%	150	150

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 04 衛生費		項 01 保健衛生費		目 02 予防費		予算上の事業名 成人の風疹予防接種事業					事業番号 02326	
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	400	174	163	163	160	-11	一般財源	71	148	163	160	150	15		
合計	400	174	163	163	160	-11	合計(A)	71	148	163	160	150	15		
財源名称							従事正職員人数	2	2	2	2	2			
							延べ業務事務時間	30	40	50	50	50	10		
							人件費計(千円)(B)	103	134	167	167	167	32		
	最終予算額		163 千円		予算執行率		100.0%		トータルコスト(A+B)		174	282	330	327	317

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	・医療機関では随時進めてきている。町ホームページへの掲載を実施予定。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	成人の風疹追加的対策事業	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
02327	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康指導支援係	担当者・シート作成者	光嶋 康子
	施策名	12 健康づくりの推進	根拠法令等	予防接種法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H31年度～R7年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	S47年4月2日～S54年4月1日生まれの男性にクーポン券を発送。S37年4月2日～S47年4月1日生まれの男性は、希望があればクーポン券を窓口で交付。ワクチンの効率的な活用のため、抗体検査の結果、抗体価が十分でない者へ予防接種費用を助成する。H31年度からR3年度までの期間が、R4年度から3年延長しR7年度までとなった為、R4年度にS37年4月2日～S54年4月1日生まれの未受診者へクーポン券を再送付した。R7年度で終了となる。	令和元年度から3年間を目安に、全国的な風しんの感染拡大を防止するため、国の動向により定期接種の機会が1度もなかった昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性を対象に実施。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
ア 昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性	ア 昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性	人	見込 実績	400 435	400 387	400 577	400	380
イ 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性	イ 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性	人	見込 実績	500 468	861 474	861 1,186	861	
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
ア 風しん抗体検査受検率の向上	ア 風しん抗体検査受検率	%	目標 実績 達成率	40 37 92.5%	40 51 127.5%	45 8 17.8%	25	25 32.0%
イ	イ 抗体検査実施者のうち、予防接種の接種率	%	目標 実績 達成率	95 49 51.2%	95 13 13.7%	95 11 11.6%	95	—
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
ア 広報活動	ア 広報誌等掲載回数	回	目標 実績 達成率	2 1 50.0%	2 1 50.0%	2 1 50.0%	2	2 50.0%
イ 啓発活動	イ 個別通知、健診案内時に啓発	回	目標 実績 達成率	2 1 50.0%	2 1 50.0%	1 1 100.0%		—

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 04 衛生費		項 01 保健衛生費		目 02 予防費		予算上の事業名					事業番号
	01 一般会計		04 衛生費		01 保健衛生費		02 予防費		成人の風疹追加的対策事業					
3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度見込	7年度見込	前年比	決算(千円)	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度見込	7年度見込	前年比		
国庫支出金	723	597	197	120	-400	国庫支出金	938	597	197	120	-400			
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	1,415	1,672	1,479	1,400	-193	一般財源	569	882	537	500	-345			
合計	2,138	2,269	1,676	1,520	-593	合計(A)	1,507	1,479	734	620	-745			
財源名称	疾病予防対策事業費等補助金					従事正職員人数	2	2	2	2				
						延べ業務事務時間	90	100	80	90	-20			
						人件費計(千円)(B)	308	336	267	300	-69			
	最終予算額	1,676千円		予算執行率	43.7%		トータルコスト(A+B)	1,815	1,815	1,001	920	-814		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	平成31年度から廃止され令和6年度で終了する事業。現在町ホームページに掲載しているが最終年度はさらに啓発活動を積極的に行い(広報や健診時)積み残しを減らせるよう努める。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	がん検診等事業費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
02355	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康係	担当者・シート作成者
	施策名	12	健康づくりの推進	根拠法令等	健康増進法	甲藤 恵理子

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	①集団・個別での各種がん検診、一般健診、20~30歳代健診の実施。(集団検診は、予約制として6月と10~11月実施。医療機関で受ける個別検診は婦人科6~12月、胃内視鏡検査・一般健診・20~30歳代健診6~1月末まで。) ②保健師・栄養士による健康教育・訪問指導の実施。	平成14年~健康増進法に基づき、疾病予防、健康増進、がんの早期発見を目的に健康教育や訪問指導、がん検診などの事業を実施。健康増進法の前は、老人保健法(昭和57年施行)により実施してきた経緯あり。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 40歳以上の男女	ア 該当町民数	人	見込	8,434	8,400	8,300	8,300	8,300
			実績	8,434	8,367	8,279		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 住民自身が健康に関心を持ち、自分自身で健康管理を行う	ア 大腸がん検診受診率	%	目標	30	20	20	20	20
			実績	15	18	18		
			達成率	50.0%	89.8%	89.0%		89.0%
イ	イ 子宮頸がん検診受診率	%	目標	30	20	20	20	20
			実績	14	15	16		
			達成率	46.7%	75.0%	81.0%		81.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 集団検診の実施	ア 集団検診(全がん検診)実施回数	回	目標	16	14	13	13	13
			実績	16	14	13		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 02		中事業 09		中事業 01		予算上の事業名		事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		予防費		がん検診等事業費		がん検診等事業費		02355		
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込		前年比	
国庫支出金	112	7,399	7,603	7,600	95	204	国庫支出金	1,162	7,199	7,498	7,500	95	299		
県支出金	112	209	197	190	95	-12	県支出金	224	209	197	190	95	-12		
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	27,710	20,356	22,368	23,669	31,300	2,012	一般財源	24,892	19,640	20,485	20,500	28,000	845		
合計	27,934	27,964	30,168	31,459	31,490	2,204	合計(A)	26,278	27,048	28,180	28,190	28,190	1,132		
財源名称	疾病予防対策事業費補助金						従事正職員人数	9	5	5	5	5	5		
	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国庫)						延べ業務事務時間	750	800	800	800	800	800		
							人件費計(千円)(B)	2,566	2,690	2,668	2,668	2,668	-22		
	最終予算額		30,168 千円	予算執行率	93.4%		トータルコスト(A+B)	28,844	29,738	30,848	30,858	30,858	1,110		

事業番号	02355	事務事業名	がん検診等事業費	所管課名	健康推進課
------	-------	-------	----------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
健康増進法に基づき実施しているがん検診は、がん罹患率・死亡率が増加している状況であり、早期発見・治療の観点からも検診の必要性が高まっている状況である。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
集団検診と個別検診(令和1年度～胃内視鏡検査を追加)で受診しやすい環境を整えている。平成29年度から全ての検診無料化。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
「特定健診・がん検診をまとめて全部受けたい」という声も多く、全ての会場で同時受診が出来るよう集団検診の日程を調整して対応している。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか?意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	健康づくりの推進は、町の最重点施策であり、特定健診とあわせて、がん検診も同時実施できる環境を整えるなど、検(健)診受診率の全体的な向上に取り組み、町民の健康意識の向上を目指している。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか?税金を投入して行うべき事業か?住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	健康増進法に基づき実施しており、町が実施主体である。町の最重点施策である健康づくりを推進するための事業であり、病気の早期発見につなげるため、集団検診・個別検診それぞれの受診環境の整備・周知を行うためには、町の関与が不可欠である。	
③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	健康増進法に基づき対象者を設定しており、対象者の設定は妥当である。町が独自に実施している5がん以外の検(健)診においても町の現状と成果から検討し、適切である。	
有効性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか?成果を向上させる有効な手段はないか?何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	特定健診などと同時に実施する集団検診は、周知方法など連携することにより成果向上をさらに目指す。個別検診は、受入可能人数もあることから早目の受診を呼びかけ医療機関の実情に応じた検診となるよう周知を工夫する。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は?目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	がん検診は、健康増進法に基づき実施のため、廃止・休止することは困難。廃止・休止した場合、町民の健康状態悪化を招く恐れがある。	
⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	各種がん検診・20～30歳代健診・一般健診(生保)について、広報紙への掲載、告知放送の実施、また特定健診・後期高齢者健診予約時に、がん検診もあわせて受診勧奨するなど様々な方法で周知する。	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	町の現状に見合った検診業者は他に見つからないため、削減困難。令和5年度は、検診日数を1日減らしたが、午後からも受診可能として、効率的な検診を実施したことにより受診希望者を受け入れる体制を確保した。
⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	集団検診を予約制とし最低限の人員でがん検診を実施しているが、特定健診・後期高齢者健診・20～30歳代健診・一般健診(生保)も同時に行うため、これ以上の削減は困難である。	
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか?受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	町民全体へ対象となる検診について個別通知で周知しており、受益機会は公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	がん検診においては、コロナ禍の影響があったが、令和4年度は概ね3年度を上回り、令和5年度はさらに上回る受診者数となった。(胃バリウム・大腸がん検診以外)健康づくりの推進は、町民が健康に働き続けるためにも重要な施策であり、がん検診、20～30歳代健診、一般健診を実施し、早くからの健康意識の向上、幅広い対象の健康維持・向上に取り組んでいる。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 健康づくりは町の最重点施策であり、受診率の向上を目指す中で、コロナ禍での受診控えなどがあったが、今後は一度離れた受診者を呼び戻すと共に、新しい層への働きかけも必要となる。特定健診・後期高齢者申込者へがん検診も同時に受診できることを伝えたり、社会保険加入者もがん検診は受診可能であることを周知したり、細やかな対応を行う。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
検(健)診の内容が複雑化しているため、わかりやすく広報周知を行う他、電話予約時に「がん検診は保険に関係なく受診可能である」旨を周知しながら、住民のニーズに応じた受診ができるよう対応していく必要がある。課内の職員全員へ説明会を実施し、申込者がスムーズに予約できるよう体制を整える。																									

事業番号	事務事業名	後期高齢者健康診査事業費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
02356	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康指導支援係	担当者・シート作成者
	施策名	12	健康づくりの推進	根拠法令等		池田佳奈

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	対象となる概ね75歳以上の後期高齢者健診対象者に受診券を準備。令和2年度から愛育委員による配布ではなくすべて郵送により送付。町内各会場で受ける集団健診は6月と10~11月に時期を分けて実施。医療機関で受ける個別健診は6~1月までで町内医療機関のみであった個別健診実施医療機関を令和3年度から津山市の医療機関にも広げ、後期高齢者健診対象者についても申請により人間ドックの費用助成を実施した。	医療制度改革により、H20年度から「高齢者の医療確保に関する法律」において75歳以上の後期高齢者に対する健診は努力義務として位置づけられた。後期高齢者広域連合が実施主体となり、生活習慣病の早期発見、早期治療により重症化を予防することが目的とされている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 後期高齢者医療保険者	ア 被保険者(健診受診対象者)	人	見込	2,321	2,350	2,400	2,400	2,400
			実績	2,321	2,377	2,412		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 健診を受診し生活習慣病を予防し、健康寿命を延ばす	ア 受診者数(集団、個別、人間ドック費用助成)	%	目標	700	825	700	750	750
			実績	534	620	660		
			達成率	76.3%	75.2%	94.3%		88.0%
イ	イ 受診率	%	目標	35	35	30	35	
			実績	23	26	27		
			達成率	65.4%	74.3%	91.0%		-
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 集団健診の実施	ア 実施回数	回	目標	17	17	11	11	11
			実績	15	12	11		
			達成率	88.2%	70.6%	100.0%		100.0%
イ 個別健診の実施	イ 委託機関数	機関	目標	8	60	58	58	54
			実績	60	58	54		
			達成率	750.0%	96.7%	93.1%		100.0%
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 02		大事業 09		中事業 02		予算上の事業名			事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		予防費						後期高齢者健康診査事業費			02356
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金	41	28	30	30	30	2	県支出金	26	28	26	30	30	-2			
町債							町債									
その他特財	8,014	6,418	10,460	12,199	12,199	4,042	その他特財	4,806	5,548	6,322	6,000	6,000	774			
一般財源	468	1,474	725	2,000	2,000	-749	一般財源	1,193	1,474	4,136	4,000	4,000	2,662			
合計	8,523	7,920	11,215	14,229	14,229	3,295	合計(A)	6,025	7,050	10,484	10,030	10,030	3,434			
財源名称	健康増進事業費補助金						従事正職員人数		9	5	5	5	5			
	後期高齢者保健事業補助金						延べ業務事務時間		680	720	590	600	600	-130		
							人件費計(千円)(B)		2,326	2,421	1,968	2,001	2,001	-453		
	最終予算額		11,215 千円		予算執行率		93.4%		トータルコスト(A+B)		8,351	9,471	12,452	12,031	12,031	2,981

事業番号	02356	事務事業名	後期高齢者健康診査事業費	所管課名	健康推進課
------	-------	-------	--------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、受診の控えが緩和されたのか、集団・個別健診ともに徐々に受診者数は増加しつつある。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
平成29年度から健診の無料化。令和3年度から人間ドック費用助成制度(上限6,500円)の導入や個別健診の医療機関を拡大した(津山市医療機関を対象)。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
医療機関へ定期的を受診しているため、健診は受診しない。受診券も不要等。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 健康づくりの推進は、町の最重点施策であり、後期高齢者医療保険加入者の健康の保持・増進を図るためには、必要不可欠であり、健診は健康づくりの基盤となっている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 後期高齢者医療保険加入者の保険者は後期高齢者医療広域連合であり、町は広域連合より健診の委託を受けているため、町が実施する必要がある。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 後期高齢者医療保険加入者を対象(長期不在、施設入所は除く)としており、適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 定期的に医療機関へ受診しており、後期高齢者健診を受診しない方が多いが、人間ドックの費用助成を行い、受診率向上につなげている。年に1度健診未受診者へ受診勧奨のハガキを送付している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 被保険者の健康の保持増進及び疾病の発症、重症化の抑制を図ることが困難になる。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 受診券の送付を効率化することで、業務時間の改善余地がある。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 健診の運営、健診の周知、必要物品の購入等、成果向上のためには削減は難しい。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 集団健診の予約制導入により、限られた人員で健診を運営することが実施可能となったが、各種がん健診、特定健診、後期高齢者健診、20~30歳代健診、一般健診(生保)を同日に行う集団健診を運営する上で、これ以上の削減は困難になる。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 後期高齢者医療保険加入者の保険者を対象に行っており、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	コロナ流行前の健診では、受診者は700人を上回っており、受診率も30%を超えていた。コロナ禍になり受診率は低下したものの、集団健診・個別健診ともに受診者は回復しつつある。また、令和3年度より、人間ドック費用助成を開始したことにより、人間ドック結果の情報提供が年々増加している。その成果もあり、令和5年度の受診率は県下で2位である。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 健康づくりは町の最重点施策であり、健診受診率の向上を目指す。健診未受診者のうち、かかりつけ医を持つため、健診を受診されない者が多い印象を受けるが、健康状態不明者(医療機関や健診受診歴がない者)が一定数存在する。そのため、まずは健診未受診者を対象に、健診の受診勧奨を行っていきたい。また人間ドックの情報提供が受診率につなげることができるため、		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
未受診者への受診勧奨。情報提供事業の周知。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							

事業番号	事務事業名	新型コロナウイルス予防費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
02381	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康指導支援係	担当者・シート作成者
	施策名	12	健康づくりの推進	根拠法令等	新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (R2 年度 ~ R5 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	令和2年2月7日より適用された「新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政令」の制定により、感染症対策の取り組みが必要となった。 令和3年度の主な取り組みは、次のとおり。 1. 感染症に対する周知及び予防に対する啓発活動 2. 感染防止対策のリーフレット、消毒液の地区集会所への配布 3. 町民へのワクチン接種(啓発活動)	令和2年1月に、中華人民共和国から発生した「新型コロナウイルス感染症」が、世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有すると新たに報告されたため、日本国内で患者が発生した場合に備え、適切な医療や検疫体制など所要の措置を講じる必要が生じたため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	町民	→	ア	人	見込	11,970	11,800	11,627		
					実績	12,497	12,358	12,351		
イ		→	イ		見込					
					実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	新型コロナウイルス感染症を予防する	→	ア	人	目標	0	0	0		
					実績	124	1,200	-		
					達成率	-	-	-		
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	啓発活動	→	ア	回	目標	12	12	12		
					実績	74	44	0		
					達成率	616.7%	366.7%	0.0%		
イ	防疫活動	→	イ	戸	目標	0	0	0		
					実績	0	0	0		
					達成率	-	-	-		

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 04 衛生費		項 01 保健衛生費		目 02 予防費		予算上の事業名					事業番号
	01 一般会計		04 衛生費		01 保健衛生費		02 予防費		新型コロナウイルス予防費					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金		244			-244	国庫支出金	3,991	363				-363		
県支出金		244			-244	県支出金	371	363				-363		
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	12,933	3,632	2,833		-799	一般財源	8,323	2,912	2,453			-459		
合計	12,933	4,120	2,833		-1,287	合計(A)	12,685	3,638	2,453			-1,185		
財源名称	地方創生臨時交付金				従事正職員人数	2	2	1				-1		
					延べ業務事務時間	1,000	1,000	500				-500		
					人件費計(千円)(B)	3,421	3,362	1,668				-1,695		
	最終予算額		2,833 千円	予算執行率	86.5%	トータルコスト(A+B)	16,106	7,000	4,121				-2,880	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	町内各機関へ消毒液の配布等、感染予防活動を行ってきたが、5類感染症移行となり本事業は令和5年度で終了。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	令和5年5月から罹患者数が市町村ごとでの数値でなくなったため、2の②のAについては⑤成果指標は空欄とする。
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之	
02382	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康指導支援係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	12	健康づくりの推進	根拠法令等	新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (2 年度~ 5 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・「新型コロナウイルス感染症」予防のためにワクチンを接種するための体制を整備し、県の「ワクチン対策室」と県内市町村でウェブ会議を重ね、岡山県は県内相互乗り入れを行う事等を決めた。町では予約コールセンターの立ち上げや接種現場の医師、看護師、事務の確保を行い、実施にあつては苫田郡医師会の協力を得て、個別接種及び集団接種を行った。5月より春開始接種として高齢者への接種を実施し、9月からは秋開始接種として全町民への接種を行った。	・予防接種法(昭和23年法律第68号)附則第7条第1項に基づき「新型コロナウイルス」の蔓延防止をはかる為、令和3年度から接種を希望する町民が接種を受けることができる体制を整える必要がある。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 12歳以上町民	ア 該当町民数	人	見込 実績	11,447 11,346	11,346 12,358	11,346 11,027		
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 新型コロナウイルス感染症に罹患しない	ア 罹患患者数	人	目標 実績 達成率	0 124 -	0 1,200 -	0 - -		
イ 新型コロナ感染症の流行を予防する	イ 高齢者のワクチン接種率(オミクロン株)	%	目標 実績 達成率	85 86 100.9%	70 69 99.1%	91 64 70.3%		
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 鏡野町新型コロナワクチン接種体制確保協議会の開催	ア 鏡野町新型コロナワクチン接種体制確保協議会の開催回数	回	目標 実績 達成率	10 13 130.0%	10 7 70.0%	6 1 16.7%		
イ 新型コロナワクチン集団接種の実施	イ 集団接種の実施回数	回	目標 実績 達成率	70 93 132.9%	50 43 86.0%	48 1 2.1%		

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		予防費		10	03	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費			
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金	64,773	78,958	12,903			-66,055	国庫支出金	41,766	37,608	20,648			-16,960	
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源			8,814			8,814	一般財源	15,243	7,945				-7,945	
合計	64,773	78,958	21,717			-57,241	合計(A)	57,009	45,553	20,648			-24,905	
財源名称	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金						従事正職員人数	2	3	2			-1	
							延べ業務事務時間	800	1,000	800			-200	
							人件費計(千円)(B)	2,737	3,362	2,668			-694	
	最終予算額	21,717 千円		予算執行率	95.0%		トータルコスト(A+B)	59,746	48,915	23,316			-25,599	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	令和5年度で今の接種体制が終了し、令和6年度から定期接種に移行される予定。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	令和5年5月から罹患患者数が市町村ごとでの数値でなくなったため、2の②のAについては⑤成果指標は空欄とする。
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
02383	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名		担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	12 健康づくりの推進	根拠法令等	新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施について(

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (2 年度~ 5 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の指示により、苫田郡医師会の協力のもと、医療機関での個別接種並びに町が行う集団接種を実施した。5月より春開始接種として高齢者への接種を実施し、9月からは秋開始接種として全町民への接種を行った。	・予防接種法(昭和23年法律第68号)附則第7条第1項に基づき「新型コロナウイルス」の蔓延防止をはかる為、必要とする町民すべてに接種を受けることができる体制を整え令和3年度から接種を行う必要がある為。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 12歳以上町民	ア 該当町民数	人	見込	11,447	11,447	11,447		
			実績	11,346	12,358	11,027		
イ			見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 新型コロナ感染症の流行を予防する	ア 罹患者数	人	目標	0	0	0		
			実績	124	1,200	—		
			達成率	—	—	—		
イ 高齢者の9割以上の方が接種する	イ 高齢者の接種率(オミクロン株)	%	目標	85	70	91		
			実績	86	69	64		
			達成率	101.2%	99.1%	70.3%		
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 鏡野町新型コロナワクチン接種体制確保協議会の開催	ア 鏡野町新型コロナワクチン接種体制確保協議会の開催回数	回	目標	10	10	6		
			実績	13	6	1		
			達成率	130.0%	60.0%	16.7%		
イ 新型コロナワクチン集団接種の実施	イ 集団接種の実施回数	回	目標	70	50	48		
			実績	93	19	1		
			達成率	132.9%	38.0%	2.1%		

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 02		予算上の事業名					事業番号	
	一般会計		衛生費		保健衛生費		予防費		新型コロナウイルスワクチン接種事業費						
								10	04						02383
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金	80,515	51,548	20,473			-31,075	国庫支出金	76,666	48,433	17,631			-30,802		
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源							一般財源	-1	3,114				-3,114		
合計	80,515	51,548	20,473			-31,075	合計(A)	76,665	51,547	17,631			-33,916		
財源名称	新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金					従事正職員人数		2	3	2			-1		
						延べ業務事務時間		800	1,000	800			-200		
						人件費計(千円)(B)		2,737	3,362	2,668			-694		
	最終予算額		20,473 千円	予算執行率	86.1%		トータルコスト(A+B)		79,402	54,909	20,299			-34,610	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	新型コロナウイルス感染症が第5類に移行、令和6年度は定期接種となることから、当初の目的を達成した。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	なお、令和5年5月から罹患者数が市町村ごとでの数値でなくなったため、2の②のアについては⑤成果指標は空欄とする
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	新型コロナウイルス予防接種健康被害給付事業費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
02384	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康指導支援係	担当者・シート作成者
	施策名	11	健康づくりの推進	根拠法令等	予防接種法	田中 幸枝

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	予防接種法に基づく予防接種を受けた者に健康被害が生じ、厚生労働大臣が認定した場合に市町村により給付金を支給。また、新たに健康被害が疑われる場合、申請を受け、町予防接種事故調査会を開催し、審査結果を国に進達する事務。	感染症患者・死亡者が多発し、社会防衛の強力な推進を目的に昭和23年予防接種が義務付けられたが、積極的な接種により健康被害が社会問題化。昭和51年予防接種救済制度が創設された。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 予防接種による健康被害者	ア 被害相談者数		見込	2	2	2	2	2
			実績	2	2	0		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 必要な救済制度が受けられる	ア 申請数		目標	2	2	2	2	2
			実績	1	1	1		
			達成率	50.0%	50.0%	50.0%		50.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 窓口・電話相談の継続	ア 相談件数		目標	2	2	2	2	2
			実績	2	2	0		
			達成率	100.0%	100.0%	0.0%		0.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		予防費		新型コロナウイルス予防接種健康被害給付事業費					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金	94		382	574	574	382	国庫支出金	94		382	574	574	382	
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源				11	11		一般財源				11	11		
合計	94		382	585	585	382	合計(A)	94		382	585	585	382	
財源名称	・新型コロナウイルス予防接種健康被害給付費国庫補助金					従事正職員人数	2	2	2	2	2			
	・一般財源					延べ業務事務時間	120	120	120	120	120			
						人件費計(千円)(B)	411	403	400	400	400	-3		
	最終予算額		382 千円	予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)	505	403	782	985	985	379	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	予防接種法に基づき実施をしている救済制度であり、見直し、改善の余地はなし。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	地域自殺対策緊急強化事業費(普及啓発)	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
02385	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康指導支援係	担当者・シート作成者	光嶋 康子
	施策名	12 健康づくりの推進	根拠法令等	地域自殺対策強化事業実施要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	大切な命を自ら絶つ悲劇を防ぐために、「自分たちにできること」「知っておいてほしいこと」「ひとりで悩まず相談すること」等について愛育委員全体研修会で講話を行った。新成人に対しては成人式にて、啓発用パンフレットやグッズを配布して啓発を行った。	全国的に様々な原因により自殺者が増加している。本町においても、年間数名の方が自ら命を絶つ現状にあり、自殺防止のためには、身近な方の気づきや傾聴、関係者につなぐことの大切さ等を、町民に広く知ってもらふ必要があり、また全国の自治体で自殺対策計画の策定が義務付けられているため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 鏡野町の全住民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
イ	イ		実績	11,280	12,358	12,116		
			見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 自殺者数が減少する	ア 自殺者数 (公表時期の都合により、評価対象年度の前年度実績を記入)	人	目標	2	2	2	2	1
イ	イ		実績	1	4	不明		
			達成率	50.0%	200.0%	-		
			目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア リーフレット等の配布 (研修会やイベントで配布)	ア 配布数(一般住民)	枚	目標	200	200	200	200	250
イ リーフレット等の配布 (成人式で配布)	イ 配布数(関係機関及び新成人)	枚	実績	153	170	300		
			達成率	76.5%	85.0%	150.0%		120.0%
			目標	150	150	150		
			実績	90	100	150		
			達成率	60.0%	66.7%	100.0%		



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 04 衛生費		項 01 保健衛生費		目 02 予防費		予算上の事業名					事業番号
	01		04		01		02		地域自殺対策緊急強化事業費(普及啓発)					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金	27	17	14	21	21	-3	県支出金	16	17	14	21	21	-3	
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源	41	106	29	30	30	-77	一般財源	11	13	29	30	30	16	
合計	68	123	43	51	51	-80	合計(A)	27	30	43	51	51	13	
財源名称	地域自殺対策緊急強化事業費補助金					従事正職員人数		1	1	1	1	1		
						延べ業務事務時間		23	25	30	32	32	5	
						人件費計(千円)(B)		79	84	100	107	107	16	
	最終予算額		43 千円	予算執行率		100.0%	トータルコスト(A+B)		106	114	143	158	158	29

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	令和4年度は自殺者が増加している。今後は昨年度より実施している「ゲートキーパー養成講座」を開催することにより、ゲートキーパーが話を傾聴する中で気づきによる保健師への繋ぎを行うことができ、早期対応、専門機関への繋ぎを行うことができ、自殺者の軽減を図ることができるようにする。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	健康づくり推進事業費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
02390	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康指導支援係	担当者・シート作成者
	施策名	12	健康づくりの推進	根拠法令等	鏡野町健康づくり条例	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	①健康教室の開催(健康運動実践指導者による「歩きやすい体づくりのための運動教室」令和5年1月に3回開催) ②健康づくり推進協議会の開催(町内の各種団体、学校等の代表者が集まり町の健康づくりについて協議、令和5年3月に開催) ③健康づくり体操を有線テレビで放送(通年) ④歯科保健8020表彰	平成25年12月20日鏡野町健康づくり条例が策定、施行され、町民・地域・行政や各種関係者共同連携のもとで、健康づくりを推進していくこととなった。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	町民	→	ア	人	見込	12,497	12,358	11,627	11,455	12,000
					実績	12,497	12,358	12,116		
イ		→	イ		見込					
					実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	自分の健康づくりに関心を持ち、自ら健康づくり活動に取り組んでもらう	→	ア	人	目標	0	40	80	100	100
					実績	0	39	91		
					達成率	—	97.5%	113.8%		91.0%
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	健康教室の開催	→	ア	回	目標	0	3	6	10	3
					実績	0	3	3		
					達成率	—	100.0%	50.0%		100.0%
イ	歯科8020表彰者	→	イ	人	目標	20	20	25	2	20
					実績	8	19	13		
					達成率	40.0%	95.0%	52.0%		65.0%
ウ		→	ウ		目標					
					実績					
					達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		予防費		健康づくり推進事業費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金	5,500					国庫支出金	5,500							
県支出金						県支出金								
町 債						町 債								
その他特財		48	58	66	66	10	その他特財	14	40	66	66	26		
一般財源	5,011	655	882	715	715	227	一般財源	3,330	564	821	715	715	257	
合計	10,511	703	940	781	781	237	合計(A)	8,830	578	861	781	781	283	
財源名称	国民健康保険特別会計繰入金(事業勘定)					従事正職員人数	10	4	4	4	4			
						延べ業務事務時間	400	200	220	220	220	20		
						人件費計(千円)(B)	1,368	672	734	734	734	61		
	最終予算額		940 千円	予算執行率	91.5%	トータルコスト(A+B)	10,198	1,250	1,595	1,515	1,515	344		

事業番号	02390	事務事業名	健康づくり推進事業費	所管課名	健康推進課
------	-------	-------	------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成25年12月20日鏡野町健康づくり条例の制定、施行。平成26年度に策定した健康づくり計画(健康かがみの21計画)に基づき事業を実施。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
本事業で令和3年度取り組んでいた「かがみの健康ポイントモデル事業」は令和4年度「鏡野健康ポイント事業」に変更。今年度の事業は、健康教室、健康づくり推進協議会、健康づくり体操、歯科8020表彰となる。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
健康教室に参加して良かった。このような教室を定期的実施し、今後も継続してほしい。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 重点施策「健康づくりの推進」をするための事業である。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 健康づくり推進協議会は町の健康づくりを協議・検討する場であり、重点施策の根幹である。また、情報発信や場の提供も、全住民の健康保持・増進のため関与する事は妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 住民の健康づくりの推進のためには妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 開催した健康教室は関心が高く、すぐに定員に到達した。今後は、食事や心の健康など、複数の健康教室を企画・開催し参加する事で、健康ポイント事業やチャレンジ90日事業へ結びつけ、各事業の新規参加者を増加させたい。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 町の健康づくりの中心となる事業は他にない。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 健康づくり体操は根強い視聴者がいるが、長年の放送でマンネリ化気味でもある。新たな視聴者獲得のため内容の検討が必要。健康教室は、健康意識の高い中高年層の参加が多い。働き世代にも魅力的な内容、参加しやすい時間帯等の工夫が必要。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 健康ポイントモデル事業が移行したため、令和4年度より事業費が減少している。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 最低限の人数で事業実施しており、今以上の削減余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 健康づくり協議会の事業は規約で委員が決まっている。その他の事業は、大人を対象としているものもあるが、一部ではなく全体が対象となっている。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	・健康教室は好評であったが、健康意識が高い人が中心の参加であった。健康寿命の延伸のためには、若い頃からの健康づくりが重要である。働き世代にも関心を持ってもらえる教室の企画を実施したい。 ・健康づくり体操については、新たな視聴者獲得のため内容について見直しを行う。 ・第3次健康かがみの21策定年度であり、鏡野町にあった健康づくりがより一層推進できるよう、町民や関係機関等の声を大切に、計画策定していきたい。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 ・健康教室は教室内容を見直し、健康を学び、行動変容につながる動機付けとなるようにする。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
・新たな参加者への働きかけ。																									

事業番号	事務事業名	かがみの健康チャレンジ事業費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
02392	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康指導支援係	担当者・シート作成者
	施策名	12	健康づくりの推進	根拠法令等	鏡野町健康づくり条例	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・10月 広報にて事業周知、参加者募集 参加申し込みのあった者より、随時、90日間、自分が選択した健康づくりを取り組む。 ・90日間終了したものが、取り組み状況を記入した「チャレンジカード」を役場に提出 ・提出者に参加賞を渡す	・平成25年度健康づくり条例制定 ・平成26年度健康推進計画「健康かがみの21」策定 ・平成27年度より、気軽に健康づくりに取り組むきっかけとして本事業を開始。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民・在勤者	ア 町民	人	見込	12,497	12,358	11,627	11,455	12,000
			実績	12,497	12,358	12,116		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民自身が自ら健康づくりに取り組んでもらう	ア 健康づくりに取り組んでいる町民の割合	%	目標	98	98	98	98	98
			実績	96	98	97		
			達成率	98.0%	100.0%	99.0%		99.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア きっかけづくり	ア 参加者人数	人	目標	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
			実績	852	716	868		
			達成率	77.5%	65.1%	78.9%		78.9%
イ 参加者へのフォローアップ	イ チャレンジカード返送割合	%	目標	90	90	90	90	90
			実績	75	82	73		
			達成率	83.3%	90.9%	80.9%		80.9%
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 02		大事業 12		中事業 02		予算上の事業名		事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		予防費		かがみの健康チャレンジ事業費		かがみの健康チャレンジ事業費		02392		
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	1,457	1,376	1,392	1,260	1,300	16	一般財源	1,051	869	692	700	700	-177		
合計	1,457	1,376	1,392	1,260	1,300	16	合計(A)	1,051	869	692	700	700	-177		
財源名称	従事正職員人数						2	2	1	2	2	2	1		
	延べ業務事務時間						600	600	584	600	600	600	-16		
	人件費計(千円)(B)						2,053	2,017	1,948	2,001	2,001	2,001	-70		
	最終予算額		1,392 千円		予算執行率		49.7%		トータルコスト(A+B)		3,104	2,886	2,640	2,701	2,701

1枚目

事業番号	02392	事務事業名	かがみの健康チャレンジ事業費	所管課名	健康推進課
------	-------	-------	----------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 新型コロナウイルス流行以前は事業終了後、協賛事業者提供による参加賞を抽選会で渡していたが、令和2年度から令和4年度は一律の参加賞を渡す方法に変更し、一緒に行っていた、健康づくり講演会など中止。令和5年度からは、抽選会を再開した。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 令和27年の事業開始時より20歳以上の町民・在勤者を対象としていたが、平成29年度より0歳以上の町民に対象を拡大。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? ポイント事業まではハードルが高いが、チャレンジなら家族で気軽に参加ができる等。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている		理由 説明	町の最重点施策「健康づくりの推進」を気軽に、乳幼児から高齢者まで無理なく取り組める事業である。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		理由 説明	ライフコースアプローチの健康づくりを実施するには町の実施が妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適切である		理由 説明	より健康づくりに特化した「かがみの健康ポイント事業」とは異なり、幅広い健康づくりを対象とし、取り組み用紙だけの簡易な参加が可能のため、ポイント事業に取り組みにくい町民に対しての健康づくりの受け皿としては妥当と考える。
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している		理由 説明	健康づくりに対する意識が高い者は、ポイント事業に移行している。ただ、ポイント事業は18歳以上を対象としており、18歳未満の健康づくりは本事業が妥当である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?) <input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある		理由 説明	気軽に健康づくりの習慣化を促す事業が他にないため、休止・廃止することにより、町民の主体性に任せることになる。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない		理由 説明	健康ポイント事業は18歳以上が対象であるが、本事業は0歳以上を対象としている。参加者の内、18歳未満の参加率は13.8%低い。子どもの頃からの健康づくりが将来の健康をつくる基礎となるため、子ども達への周知や若い世代・子ども達が参加しやすい内容や方法の検討が必要。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		理由 説明	チャレンジカードを事業当初から広報に折り込むなど、事業費削減に努め、令和5年度は賞品の郵送対応はせず、抽選会で直接渡す形をとった。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方を見直しや民間委託などでコスト削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		理由 説明	現在も最低限の職員で担当しており、これ以上人件費の削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		理由 説明	全住民が対象となっており偏りはない。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	健康ポイント事業の開始により参加者は減少したが、本事業が定着している町民にとっては健康づくりの機会となっている。参加者の習慣化のきっかけづくりとしては役目を果たした頃でもあり、現在の形も活かした新しい取り組みの検討が必要と思われる。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 健康づくりは町の最重要施策であり、今後、本事業については、町民が主体的に取り組むことができる事業の1つとなるよう実施方法や内容など見直しが必要と考える。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
子ども達や若年層への周知や、子ども達や若年層も参加しやすい方法または新しい事業の検討。																									

事業番号	事務事業名	健康ポイント事業費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
02394	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康指導支援係	担当者・シート作成者
	施策名	12	健康づくりの推進	根拠法令等	鏡野町健康づくり条例	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	①スマホ又は活動量計を用い、歩数測定 ②体組成測定(筋肉量・脂肪量等)の定期的測定 ③町が実施する健康診断や健康教室の参加 ①~③でポイントを付与し、ポイント数に応じて景品と交換。 参加者は登録制。	・平成25年度健康づくり条例制定 ・平成26年度健康推進計画「健康かがみの21」策定 ・町の健康づくりを推進していくため、受診率向上との両輪として令和3年度モデル実施。 本年度より、本格実施となる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	18歳以上の町民	→	ア	人	見込	10,800	10,672	10,514	10,200	11,000
					実績	10,800	10,672	10,302		
イ		→	イ		見込					
					実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	自分の健康に関心を持ち、自ら健康づくり活動に取り組んでもらう	→	ア	%	目標	200	500	500	500	800
					実績	120	290	430		
					達成率	60.0%	58.0%	86.0%		53.8%
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	歩数測定	→	ア	歩	目標	6,000	6,500	7,000	8,000	8,000
					実績	5,254	6,323	6,128		
					達成率	87.6%	97.3%	87.5%		76.6%
イ	町健診参加者へのポイント付与	→	イ	人	目標	0	145	200	250	300
					実績	0	132	214		
					達成率	—	91.0%	107.0%		71.3%
ウ	健康教室参加者へのポイント付与	→	ウ	人	目標	0	100	200	100	100
					実績	0	98	81		
					達成率	—	98.0%	40.5%		81.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 02		大 12		中 04		予算上の事業名		事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		予防費		健康ポイント事業費		健康ポイント事業費		健康ポイント事業費		
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	02394	
国庫支出金	5,500						国庫支出金	5,500							
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財		3,670	4,376	4,433	4,500	706	その他特財		3,627	3,084	4,433	4,500	-543		
一般財源	5,011	3,365	3,109	6,278	6,500	-256	一般財源	3,330	3,024	4,077	6,278	6,500	1,053		
合計	10,511	7,035	7,485	10,711	11,000	450	合計(A)	8,830	6,651	7,161	10,711	11,000	510		
財源名称	国民健康保険特別会計繰入金(事業勘定)						従事正職員人数		10	3	3	3	3		
							延べ業務事務時間		400	700	624	600	600	-76	
							人件費計(千円)(B)		1,368	2,353	2,081	2,001	2,001	-272	
	最終予算額		7,485 千円		予算執行率		95.6%		トータルコスト(A+B)		10,198	9,004	9,242	12,712	13,001

事業番号	02394	事務事業名	健康ポイント事業費	所管課名	健康推進課
------	-------	-------	-----------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
事業を開始し、3年目であり、大きな状況の変化はない。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
1年目はモデル事業としてスマホ登録者のみ実施。2年目以降は活動量計での参加を始め、健康行動に応じてポイントの付与を実施。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
健康の維持・向上に良い取り組みだが、事業に関する知名度が低い。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 健康への関心層や無関心層に対して健康行動に応じてポイントを付与し、健康意識を高める健康ポイント事業は町の政策【健康づくりの推進】に直結している。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 ライフステージを網羅しての健康づくりは町でなければ難しい。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 鏡野町は全国と比較し、運動習慣がある者の割合が少ない(特に男性)【KDB:R4 年度(累計)データを使用】。また、健康づくり計画においても日頃運動やスポーツをしていない人の減少について目標値に達していない現状にある。健康づくりの柱でもある運動習慣の構築のためにも現対象者が妥当だと考える。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 事業継続者のうち、事業に参加している自覚がない者や脱落者(ポイントの付与がない者)が多い傾向にある。事業参加者の整理を行うと共に、事業継続に繋げられるよう健康に関する情報提供やイベントの実施を図る。また、より多くの町民に参加してもらえるよう周知方法を検討する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 インセンティブを活用した健康ポイント事業は町民の行動変容の動機づけとなるため、健康づくりの推進(運動習慣の構築)には必要な事業となる。
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 事業参加へのハードル高い。特にスマホ登録手順が複雑であり、登録に時間を要するため、登録方法の簡素化を図る。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 事業参加者の拡大のため、スマホのみでなく、活動量計や体組成測定器を取り入れており、活動量計・体組成計との連携を含むシステム面は契約している株式会社タニタヘルスリンクの強みであり、事業費の削減は難しい。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 ポイント事業の事務作業の中で、単純な作業(ポイント付与・紐づけ、活動量計の登録・交換、発送作業等)は、会計年度職員等への協力も依頼しているが、事業の計画・実施など運営に係る人件費の削減は難しい。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 健康行動により貯まったポイントと景品との交換は、昨年度の交換方法を加味し、一部の受益者に偏らない方法を検討している。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	健康ポイント事業は3年目に入るが、事業の認知度が低い。町イベントや町内施設と連携し、周知拡大を図る。また、事業参加者の脱落者を把握し、健康ポイント事業参加者の整理を行うことにより、健康ポイント事業の評価(歩数増加等)をより明確にする。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 健康ポイント事業継続参加者の整理。健康ポイント事業の継続を目指し、健康情報の発信回数や内容を検討していく。スマホや活動量計の特典ポイントを付与し、ポイント事業への魅力を図る。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
他課や関係団体との連携・協力の強化。																									

事業番号	事務事業名	経常管理費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之	
21002	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井ひとみ
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	国民健康保険法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国民健康保険事務にかかる費用 職員旅費・消耗品費・封筒印刷費・郵送料・国保総合システム機器保守料等 必要時に支出決議する	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 国保被保険者	ア 鏡野町の国保被保険者数(年度末)	人	見込 実績	2,690 2,649	2,650 2,515	2,390 2,391	2,302	2,302
イ 職員	イ 国保担当職員数	人	見込 実績	2 2	2 2	2 2	2	2

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 滞りなく国保業務を行う	ア 順調に国保業務が行えた職員数	人	目標 実績 達成率	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2	2
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 支出決議	ア 国保事業会計支出決議件数	件	目標 実績 達成率	2,000 1,751 87.6%	1,800 1,682 93.4%	1,700	1,700	1,700
イ 歳入決議	イ 国保事業会計歳入決議件数	件	目標 実績 達成率	2,000 1,188 59.4%	1,800 1,065 59.2%	1,700	1,700	1,700

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 21		款 01		項 01		目 01		大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		総務費		総務管理費		一般管理費		01	02	経常管理費					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	2,097	1,984	3,495	3,580	3,580	1,511	一般財源	1,935	1,754	3,412	3,580	3,580	1,658			
合計	2,097	1,984	3,495	3,580	3,580	1,511	合計(A)	1,935	1,754	3,412	3,580	3,580	1,658			
財源名称							従事正職員人数	2	2	2	2	2				
							延べ業務事務時間	230	230	230	230	230				
							人件費計(千円)(B)	787	773	767	767	767	-6			
	最終予算額	3,495 千円		予算執行率	97.6%		トータルコスト(A+B)	2,722	2,527	4,179	4,347	4,347	1,652			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	法に従い、適切に実施できている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	臨時管理費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
21018	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	担当者・シート作成者	
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	国保総合システムの更新作業に伴う端末セットアップ費用やプリンタの搬入設置費用及びプリンタ本体費用	国保総合システムが導入から5年が経過し、県内一斉のシステム更新を行う

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 国保被保険者	ア 鏡野町の国保被保険者数(年度末)	人	見込 実績			2,390 2,391		
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 安心して医療を受ける	ア 安心して医療を受けられた被保険者数	人	目標 実績 達成率			2,390 2,391 100.0%		
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 国保連合会への支払い	ア 支払回数	件	目標 実績 達成率			140 132 94.3%		
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 21		款 01		項 01		目 01		大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		総務費		総務管理費		一般管理費		01 09		臨時管理費					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源			743			743	一般財源			827			827			
合計			743			743	合計(A)			827			827			
財源名称	従事正職員人数										2		2			
	延べ業務事務時間										96		96			
	人件費計(千円)(B)										320		320			
	最終予算額		743 千円		予算執行率		111.3%		トータルコスト(A+B)				1,147	1,147		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	問題なく機器の更新ができています。不具合も生じていない。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	賦課徴収経常管理費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
21011	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険税条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国保税の徴収に係る経費	国保税徴収のため

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 国保被保険者	ア 鏡野町国保被保険者数(年度末)	人	見込 実績	2,690 2,649	2,690 2,515	2,390 2,391	2,302	2,302
イ 国保税賦課徴収職員	イ 賦課徴収職員数	人	見込 実績	3 3	2 2	2 2	2	2
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 国保税を滞りなく納めてもらう	ア 国保税入金額	千円	目標 実績 達成率	250,000 218,643 87.5%	250,000 212,955 85.2%	207,000	202,000	
イ スムーズに賦課徴収業務にあたる	イ 業務ができた職員数	人	目標 実績 達成率	3 3 100.0%	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2	2
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 費用の支払い	ア 支払決議書回数	回	目標 実績 達成率	30 59 196.7%	30 67 223.3%	30 63 210.0%	60	
イ 納税通知書発送	イ 発送通数	通	目標 実績 達成率	1,830 1,811 99.0%	1,830 1,815 99.2%	1,820	1,820	

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 21		款 01		項 02		目 01		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		総務費		徴税费		賦課徴収費		賦課徴収経常管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	708	701	654	712	712	-47	一般財源	655	694	556	712	712	-138	
合計	708	701	654	712	712	-47	合計(A)	655	694	556	712	712	-138	
財源名称	従事正職員人数						2	2	2	2	2			
	延べ業務事務時間						10	10	10	10	10			
	人件費計(千円)(B)						34	34	33	33	33	-0		
	最終予算額		654 千円	予算執行率		85.0%	トータルコスト(A+B)		689	728	589	745	745	-138

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	条例に従い、適切に実施できている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	一般被保険者療養給付費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
21041	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	国民健康保険法	柳井 ひとみ

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国民健康保険被保険者が安心して医療を受けられるよう安定した国保財政を運営するための事業 国保一般被保険者医療費負担分(医科・歯科・調剤等)で疾病、負傷に対する保険者負担の費用100%普通交付金でみてもらえるため、国保連合会から資料で県へ交付金を請求する。 県からの交付金を調定するが、予算より公金振替することで処理する。	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。 平成30年度より県国保へ変更したため県費から交付金が歳入となる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 国保一般被保険者	ア 鏡野町の国保一般被保険者数(年度末)	人	見込 実績	2,650 2,649	2,650 2,515	2,390 2,391	2,302	2,302
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 安心して医療を受ける	ア 安心して医療を受けられた被保険者数	人	目標 実績 達成率	2,650 2,649 100.0%	2,650 2,515 94.9%	2,390 2,391 100.0%	2,302	2,302 103.9%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 国保連合会への支払い	ア 支払回数	回	目標 実績 達成率	25 24 96.0%	24 23 95.8%	24 25 104.2%	24	24 104.2%
イ 点検員によるレセプト点検	イ 再審査請求枚数(年間合計)	件	目標 実績 達成率	1,000 718 71.8%	1,000 672 67.2%	1,000	1,000	1,000

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計		21		02		01		01		01		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		保険給付費		療養諸費		一般被保険者療養給付費		01		01		一般被保険者療養給付費					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比					
国庫支出金							国庫支出金											
県支出金	981,385	926,520	917,490	884,100	884,100	-9,030	県支出金	849,303	845,780	871,704	884,100	884,100	25,924					
町債							町債											
その他特財							その他特財											
一般財源							一般財源											
合計	981,385	926,520	917,490	884,100	884,100	-9,030	合計(A)	849,303	845,780	871,704	884,100	884,100	25,924					
財源名称	療養給付費等負担金(普通交付金)						従事正職員人数	2	2	2	2	2						
							延べ業務事務時間	230	230	230	230	230						
							人件費計(千円)(B)	787	773	767	767	767	-6					
	最終予算額		917,490 千円		予算執行率	95.0%		トータルコスト(A+B)	850,090	846,553	872,471	884,867	884,867	25,918				

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	法に従い、適切に実施できている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	退職被保険者等療養給付費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
21046	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	国民健康保険法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国民健康保険被保険者が安心して医療を受けられるよう安定した国保財政を運営するための事業 退職被保険者に係る療養給付費の保険者負担分	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 国保退職被保険者	ア 国保退職被保険者数	人	見込 実績	0 0	0 0	1 0	1	1
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療給付の受給	ア 給付を受けた退職被保険者数	人	目標 実績 達成率	0 0 -	0 0 -	1 0 0.0%	1	0.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 診療報酬の支払い	ア 支払件数	件	目標 実績 達成率	0 0 -	0 0 -	12 0 0.0%	12	0.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 21		款 02		項 01		目 02		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		保険給付費		療養諸費		退職被保険者等療養給付費		退職被保険者等療養給付費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金	100	100	100	100	100	県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源						一般財源								
合計	100	100	100	100	100	合計(A)						0		
財源名称	国民健康保険保険給付費等交付金					従事正職員人数	1	1	1	1	1			
						延べ業務事務時間			12	12	12	12		
						人件費計(千円)(B)			40	40	40	40		
	最終予算額	100 千円		予算執行率	0.0%		トータルコスト(A+B)			40	40	40	40	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	該当者なし
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	一般被保険者療養費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
21051	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	国民健康保険法	柳井 ひとみ

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国民健康保険被保険者が安心して医療を受けられるよう安定した国保財政を運営するための事業 国保一般療養費被保険者負担分 柔道整復施術料・補装具購入費・はり・きゅう・マッサージ等費用および資格証明書交付者等(10割受診者)への保険者負担費用 100%普通交付金でみてもらえるため、国保連合会から資料で県へ交付金を請求する。	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。 平成30年度より県国保へ変更したため県費から交付金が歳入となる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 国保一般被保険者	ア 鏡野町の国保一般被保険者数(年度末)	人	見込 実績	2,650 2,649	2,650 2,515	2,390 2,391	2,302	2,302
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 安心して医療を受ける	ア 安心して医療を受けられた被保険者数	人	目標 実績 達成率	2,650 2,649 100.0%	2,650 2,515 94.9%	2,390 2,391 100.0%	2,302	2,302 103.9%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 国保連合会への支払い	ア 支払回数	回	目標 実績 達成率	140 131 93.6%	140 125 89.3%	140 132 94.3%	140	140 94.3%
イ 点検員によるレセプト点検	イ レセプト点検回数	回	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12	12 100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 21		款 02		項 01		目 03		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		保険給付費		療養諸費		一般被保険者療養費		一般被保険者療養費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金	2,726	2,940	2,730	2,730	-210	県支出金	2,692	2,330	2,627	2,730	2,730	297		
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源						一般財源								
合計	2,726	2,940	2,730	2,730	-210	合計(A)	2,692	2,330	2,627	2,730	2,730	297		
財源名称	療養給付費等負担金(普通交付金)					従事正職員人数	2	2	2	2	2			
						延べ業務事務時間	96	96	96	96	96			
						人件費計(千円)(B)	328	323	320	320	320	-3		
	最終予算額		2,730 千円	予算執行率	96.2%	トータルコスト(A+B)	3,020	2,653	2,947	3,050	3,050	294		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	法に従い、適切に実施できている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	退職被保険者等療養費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之	
21056	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	国民健康保険法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国民健康保険被保険者が安心して医療を受けられるよう安定した国保財政を運営するための事業 退職被保険者に係る療養費の保険者負担分	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 国保退職被保険者	ア 国保退職被保険者数	人	見込 実績	0 0	1 0	1 0	1	1
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療給付の受給	ア 給付を受けた退職被保険者数	人	目標 実績 達成率	0 0 -	1 0 0.0%	1 0 0.0%	1	1 0.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 療養費の支払い	ア 支払件数	件	目標 実績 達成率	0 0 -	1 0 0.0%	1 0 0.0%	1	1 0.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 21		款 02		項 01		目 04		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		保険給付費		療養諸費		退職被保険者等療養費		退職被保険者等療養費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金	10	10	10	10	10	県支出金				10	10			
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源						一般財源								
合計	10	10	10	10	10	合計(A)				10	10	0		
財源名称	国民健康保険保険給付費等交付金					従事正職員人数	1	1	1	1	1			
						延べ業務事務時間								
						人件費計(千円)(B)						0		
	最終予算額	10 千円	予算執行率	0.0%		トータルコスト(A+B)				10	10	0		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	該当者なし。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	一般被保険者高額療養費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
21066	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	国民健康保険法	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国民健康保険被保険者が安心して医療を受けられるよう安定した国保財政を運営するための事業 国保一般被保険者医療費負担分(医科・歯科・調剤等)で疾病、負傷に対する保険者負担の費用100%普通交付金でみてもらえるため、国保連合会から資料で県へ交付金を請求する。 県からの交付金を調定するが、予算より公金振替することで処理する。	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。 平成30年度より県国保へ変更したため県費から交付金が歳入となる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 国保一般被保険者	ア 鏡野町の国保一般被保険者数(年度末)	人	見込 実績	2,650 2,649	2,650 2,515	2,390 2,391	2,302	2,302
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 高額な医療費に対する負担軽減	ア 負担軽減した被保険者数	人	目標 実績 達成率	800 855 106.9%	850 839 98.7%	850 855 100.6%	850	850
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 申請のお知らせ発送・申請の受付	ア お知らせ発送回数	回	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12	12
イ 高額療養の支給	イ 支給した被保険者数	人	目標 実績 達成率	800 855 106.9%	850 839 98.7%	850 855 100.6%	850	850

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 21		款 02		項 02		目 01		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		保険給付費		高額療養費		一般被保険者高額療養費		一般被保険者高額療養費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金	163,699	138,915	136,395	135,870	135,870	-2,520	県支出金	120,659	121,687	130,924	135,870	135,870	9,237	
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源							一般財源							
合計	163,699	138,915	136,395	135,870	135,870	-2,520	合計(A)	120,659	121,687	130,924	135,870	135,870	9,237	
財源名称	療養給付費等負担金(普通交付金)					従事正職員人数	1	1	1	1	1			
						延べ業務事務時間	96	96	96	96	96			
						人件費計(千円)(B)	328	323	320	320	320	-3		
	最終予算額	136,395 千円	予算執行率	95.9%		トータルコスト(A+B)	120,987	122,010	131,244	136,190	136,190	9,234		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	法に従い、適切に実施できている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	退職被保険者等高額療養費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
21071	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	国民健康保険法	柳井 ひとみ

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国民健康保険被保険者が安心して医療を受けられるよう安定した国保財政を運営するための事業 退職被保険者に係る高額療養費で、同じ人が同じ月内に同じ医療機関で限度額を超えて一部負担金を支払ったときに、その超えた分の保険者負担費用	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 国保退職被保険者	ア 鏡野町の国保退職被保険者数(年度末)	人	見込 実績	0 0	1 0	1 0	1	1
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 高額な医療に対する負担軽減	ア 負担軽減した被保険者数	人	目標 実績 達成率	0 0 -	1 0 0.0%	1 0 0.0%	1	0.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 申請お知らせ発送・申請の受付	ア お知らせ発送	回	目標 実績 達成率	0 0 -	1 0 0.0%	1 0 0.0%	1	0.0%
イ 高額療養費の支給	イ 支給した被保険者数	人	目標 実績 達成率	0 0 -	1 0 0.0%	1 0 0.0%	1	0.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 21		款 02		項 02		目 02		大事業	中事業	予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		保険給付費		高額療養費		退職被保険者等高額療養費		01	01	退職被保険者等高額療養費					21071
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金	100	100	100	100	100		県支出金				100	100				
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源							一般財源									
合計	100	100	100	100	100		合計(A)				100	100	0			
財源名称	療養給付費等負担金(普通交付金)					従事正職員人数					1	1	1	1	1	
						延べ業務事務時間							12	12		
						人件費計(千円)(B)							40	40	0	
	最終予算額		100 千円		予算執行率		0.0%		トータルコスト(A+B)				140	140	0	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	該当者なし。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	一般被保険者高額介護合算療養費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之	
21072	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	国民健康保険法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国民健康保険被保険者が安心して医療を受けられるよう安定した国保財政を運営するための事業。 医療費が高額になった世帯内に介護保険の受給者がいる場合、国保と介護保険の限度額を適用後、毎年8月1日~7月31日の期間で、年額を合算して限度額を超えた分を支給する。	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 国保一般被保険者	ア 鏡野町の国保一般被保険者数(年度末)	人	見込 実績	2,650 2,649	2,650 2,515	2,390 2,391	2,302	2,302
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 高額な医療費に対する負担軽減	ア 負担軽減した被保険者数	人	目標 実績 達成率	15 10 66.7%	15 6 40.0%	15 5 33.3%	15	15 33.3%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 勸奨通知の発送	ア 勸奨通知の発送回数	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1 100.0%
イ 申請受付	イ 受付人数	人	目標 実績 達成率	15 10 66.7%	15 6 40.0%	15 5 33.3%	15	15 33.3%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 21		款 02		項 02		目 03		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		保険給付費		高額療養費		一般被保険者高額介護合算療養費		一般被保険者高額介護合算療養費					
	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比	決算	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比	
	実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込		
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金	449	210	210	210	210		県支出金	154	110	88	210	210	-22	
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源							一般財源							
合計	449	210	210	210	210		合計(A)	154	110	88	210	210	-22	
財源名称	療養給付費等負担金(普通交付金)					従事正職員人数		1	1				-1	
						延べ業務事務時間		15	15				-15	
						人件費計(千円)(B)		51	50				-50	
	最終予算額		210 千円	予算執行率	41.9%	トータルコスト(A+B)		205	160	88	210	210	-72	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	法に従い、適切に実施できている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	出産育児一時金	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之	
21081	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	16	子育て支援の充実	根拠法令等	国民健康保険法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国民健康保険被保険者が安心して医療を受けられるよう安定した国保財政を運営するための事業 出産育児一時金 一件あたり50万円 支出総額の3分の2は一般会計からの繰入金	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 国保被保険者	ア 鏡野町の国保被保険者数(年度末)	人	見込 実績	2,600 2,649	2,650 2,515	2,390 2,391	2,302	2,302
イ 申請をした被保険者	イ 申請をした被保険者	人	見込 実績	10 7	10 4	10 4	10	10
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 出産時の負担を軽減する	ア 一時金支給件数	件	目標 実績 達成率	10 7 70.0%	10 4 40.0%	10 4 40.0%	10	10 40.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 一時金の支給	ア 一時金支給件数	件	目標 実績 達成率	10 7 70.0%	10 4 40.0%	10 4 40.0%	10	10 40.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 子育て世帯	ア 町内で安心して子育てをしてもらう
イ 出生児	イ 子育てと仕事の両立を図ってもらう
ウ 未就学児	ウ 心身ともに健全に育ってもらう
エ 小学校児童	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 21		款 02		項 03		目 02		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		保険給付費		出産育児諸費		出産育児一時金		出産育児一時金					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財	2,800	2,800	1,502	1,002	1,002	-1,298	その他特財	1,960	1,120	1,333	1,002	1,002	213	
一般財源	1,403	1,403	3,000	2,000	2,000	1,597	一般財源	981	560	667	2,000	2,000	107	
合計	4,203	4,203	4,502	3,002	3,002	299	合計(A)	2,941	1,680	2,000	3,002	3,002	320	
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1			
	延べ業務事務時間						5	5	5	5	5			
	人件費計(千円)(B)						17	17	17	17	17	-0		
	最終予算額	4,502 千円		予算執行率	44.4%		トータルコスト(A+B)	2,958	1,697	2,017	3,019	3,019	320	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	法に従い、適切に実施できている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	葬祭給付費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
21086	政策名	1	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11	根拠法令等	国民健康保険法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国民健康保険被保険者が安心して医療を受けられるよう安定した国保財政を運営するための事業 葬祭費5万円を支給する	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 国保被保険者	ア 鏡野町の国保被保険者数(年度末)	人	見込 実績	2,650 2,649	2,650 2,515	2,390 2,391	2,302	2,302
イ 申請をした国保被保険者	イ 申請をした国保被保険者数	人	見込 実績	24 17	25 23	25 14	20	20
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 葬祭時の負担軽減	ア 支給を受けた被保険者数	人	目標 実績 達成率	24 17 70.8%	25 23 92.0%	25 14 56.0%	20	20 70.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 死亡後の支給手続き	ア 葬祭費支給回数	回	目標 実績 達成率	24 17 70.8%	25 23 92.0%	25 14 56.0%	20	20 70.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 21		款 02		項 04		目 01		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		保険給付費		葬祭諸費		葬祭給付費		葬祭給付費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	1,200	1,250	750	1,000	1,000	-500	一般財源	850	1,150	700	1,000	1,000	-450	
合計	1,200	1,250	750	1,000	1,000	-500	合計(A)	850	1,150	700	1,000	1,000	-450	
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1			
	延べ業務事務時間						12	12	12	12	12			
	人件費計(千円)(B)						41	40	40	40	40	-0		
	最終予算額		750 千円	予算執行率		93.3%	トータルコスト(A+B)		891	1,190	740	1,040	1,040	-450

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	法に従い、適切に実施できている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	一般被保険者移送費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
21091	政策名	1	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11	根拠法令等	国民健康保険法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国民健康保険被保険者が安心して医療を受けられるよう安定した国保財政を運営するための事業 被保険者に対する移送費の支給	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 国保被保険者	ア 国保被保険者数	人	見込 実績	2,649 2,649	2,650 2,515	2,390 2,391	2,374	2,374
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 療養のための移送費の給付	ア 給付を受けた被保険者数	人	目標 実績 達成率	0 0 -	1 0 0.0%	1 0 0.0%	1	1 0.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 移送費の支払い	ア 支払件数	件	目標 実績 達成率	0 0 -	1 0 0.0%	1 0 0.0%	1	1 0.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 21		款 02		項 05		目 01		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		保険給付費		移送費		一般被保険者移送費		一般被保険者移送費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金	10	10	10	10	10	県支出金				10	10			
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源						一般財源								
合計	10	10	10	10	10	合計(A)				10	10	0		
財源名称	国民健康保険保険給付費等交付金					従事正職員人数	1	1	1	1	1			
						延べ業務事務時間				1	1			
						人件費計(千円)(B)				3	3	0		
	最終予算額	10 千円	予算執行率	0.0%		トータルコスト(A+B)				13	13	0		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	該当者なし。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	傷病手当金	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之	
21094	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	国民健康保険法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国民健康保険被保険者が安心して医療を受けられるよう安定した国保財政を運営するための事業 新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に係る傷病手当金の支給	令和2年度より、感染拡大防止の観点から「新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策」として支給することとした。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 国保被保険者	ア 国保被保険者数	人	見込 実績	2,649 2,649	2,650 2,515	2,390 2,391	2,302	2,302
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 傷病手当金の給付	ア 給付を受けた被保険者数	人	目標 実績 達成率	0 0 -	5 4 80.0%	5 0 0.0%	5	5 0.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 傷病手当金の支払い	ア 支払件数	件	目標 実績 達成率	0 0 -	5 4 80.0%	5 0 0.0%	5	5 0.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計		21		02		06		01		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		保険給付費		傷病手当金		傷病手当金		01		傷病手当金					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比				
国庫支出金						国庫支出金										
県支出金	2,000	2,000	1,250	1,000	1,000	-750	県支出金	107		1,000	1,000	-107				
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源							一般財源									
合計	2,000	2,000	1,250	1,000	1,000	-750	合計(A)	107		1,000	1,000	-107				
財源名称	国民健康保険保険給付費等交付金					従事正職員人数	1	1	1	1	1					
						延べ業務事務時間		5	5	5	5					
						人件費計(千円)(B)		17	17	17	17	-0				
	最終予算額	1,250 千円	予算執行率	0.0%		トータルコスト(A+B)		124	17	1,017	1,017	-107				

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	法に従い、適切に実施できている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	特定健康診査等事業費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
21134	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康指導支援係	担当者・シート作成者
	施策名	12	健康づくりの推進	根拠法令等	高齢者医療の確保に関する法律	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	対象となる40~74歳の国保被保険者の全員に受診券を準備し郵送にて送付。集団健診は予約制として6月と10~11月に分けて実施。医療機関で受ける個別健診は6~11月末まで。健診終了後は随時結果を個別に返送。必要に応じて保健師、栄養士による訪問にて対応。受診者のうち、メタボリックシンドローム予備群にあたる者に対して実施する「特定保健指導」についてR3年度は集団健診会場にて同日に初回面談を実施した。	医療制度改革によりH20年度から「老人保健法」の事業が「高齢者医療確保法」と「健康増進法」に分かれ、健康診査は保険者の実施責任として行い、被保険者の健康の保持増進及び疾病の発症、重症化の抑制を図り、医療費の適正化に結び付けることを目的に実施することとなった。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	特定健診対象者	→	ア	人	見込	1,932	2,300	2,300	2,000	2,000
					実績	2,251	2,322	1,834		
イ	特定保健指導対象者	→	イ	人	見込	130	130	110	110	110
					実績	117	106	105		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	健診を受診し、生活習慣病の予防を図る	→	ア	人	目標	51	52	52	53	54
					実績	40	40	46		
					達成率	78.4%	77.7%	88.5%		85.2%
イ	特定保健指導対象者の生活習慣の改善を図る	→	イ	%	目標	20	20	25	25	25
					実績	1	19	24		
					達成率	5.0%	94.5%	96.0%		96.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	集団健診の実施	→	ア	回	目標	17	17	11	11	11
					実績	15	12	11		
					達成率	88.2%	70.6%	100.0%		100.0%
イ	保健指導実施機会の提供	→	イ	回	目標	4	4	11	11	11
					実績	15	12	11		
					達成率	375.0%	300.0%	100.0%		100.0%
ウ		→	ウ		目標					
					実績					
					達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 21		款 09		項 01		目 01		中事業		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		保健事業費		特定健康診査等事業費		特定健康診査等事業費		01 01		特定健康診査等事業費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比				
国庫支出金						国庫支出金										
県支出金	4,050	7,041	6,788	8,000	8,000	-253	県支出金	3,666	8,445	6,788	8,000	8,000	-1,657			
町債							町債									
その他特財	46	50	40			-10	その他特財	43	46	31	40	40	-15			
一般財源	8,893	6,911	4,753	5,900	5,900	-2,158	一般財源	7,234	3,071	4,457	3,500	3,500	1,386			
合計	12,989	14,002	11,581	13,900	13,900	-2,421	合計(A)	10,943	11,562	11,276	11,540	11,540	-286			
財源名称	保険給付費等交付金(特別交付金:保健事業負担金)						従事正職員人数		9	5	5	5	5			
	健康増進事業補助金特定健診分繰入金						延べ業務事務時間		950	956	862	900	900	-94		
							人件費計(千円)(B)		3,250	3,214	2,875	3,002	3,002	-339		
	最終予算額		11,581 千円		予算執行率		97.3%		トータルコスト(A+B)		14,193	14,776	14,151	14,542	14,542	-625

1枚目

事業番号	21134	事務事業名	特定健康診査等事業費	所管課名	健康推進課
------	-------	-------	------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
新型コロナウイルス感染症拡大時は受診者数が大幅に減少したが、5類移行したこともあり、受診者数は増えてきている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
平成29年度から特定健診の無料化。人間ドック費用助成制度(上限6,500円)の導入。平成30年度ナイター健診の開始。令和2年度より集団健診の予約制を導入。令和4年度より医療機関からの定期的な検査結果の情報提供事業を開始。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
医療機関へ定期的を受診しているため、特定健診を受診しない。受診券も不要等。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 健康づくりの推進は、町の最重点施策であり、町国保加入者の健康の維持・増進を図るためには必要不可欠であり、健康づくりの基盤となっている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 国民健康保険加入者の保険者は町であるため、町が実施する必要がある。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 町国保加入者を対象(長期不在、施設入所は除く)としており、適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 40~50代の受診率が低く、働き世代に向けて健診の必要性をより周知する必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 被保険者の健康の保持増進及び疾病の発症、重症化の抑制を図ることが困難になる。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 受診券の送付を効率化することで、業務時間の改善余地がある。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 健診の運営、健診の周知、必要物品の購入等、成果向上のためには削減は難しい。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 集団健診の予約制導入により、限られた人員で健診を運営することが実施可能となったが、各種がん健診、特定健診、後期高齢者健診、20~30歳代健診、一般健診(生保)を同日に行う集団健診を運営する上で、これ以上の削減は困難になる。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 国民健康保険加入者の保険者を対象に行っており、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	医療機関を定期的を受診しているため、特定健診は受診していない者に対し、令和4年緒から特定健診相当の検査結果を医療機関から提供してもらった情報提供事業を実施したことにより、受診率の向上に繋げることができた。今後も情報提供事業を実施すると共に、健診の必要性について周知をしていく必要がある。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 健康づくりは町の最重点施策であり、健診受診率の向上を目指す。生活習慣病予防としては早期発見が重要になるため、働き世代の健診受診率向上に向けて、若年層に伝わる広報の方法について検討していきたい。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
健診受診率の向上のため受診勧奨の方法について検討(特に国保加入者の若年層)。特定健診受診券の送付方法について(業務時間の改善)。																									

事業番号	事務事業名	保健衛生普及費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
21136	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者
	施策名	12	健康づくりの推進	根拠法令等	高齢者医療の確保に関する法律	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国民健康保険被保険者の疾病予防、重症化の防止に取り組み、健康の保持増進及び医療費の適正化を図る。 ・直診施設と連携を図りながら、歯科に係る在宅ケアを推進するため、寝たきり老人等に対し、歯科診療・指導等を行う事業 ・24時間年中無休電話健康相談委託事業 ・医療費通知事業 ・後発医薬品差額通知事業 ・健診受診勧奨事業 ・第3期データヘルス計画及び第4期特定健診等実施計画の策定。	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町国保被保険者	ア 鏡野町の国保被保険者数(年度末)	人	見込 実績	2,650 2,649	2,650 2,515	2,390 2,391	2,302	2,302
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 健診受診勧奨により健診受診率を向上させる	ア 特定健診受診率	%	目標 実績 達成率	42 35.5 84.5%	45 44.1 98.0%	45 46.0 102.2%	48	
イ 保健事業実施により被保険者の健康の維持と医療費の削減に努める	イ 被保険者一人当たりの医療費(県の国保事業状況より)	千円	目標 実績 達成率	430 437 101.6%	430 435 101.2%	433 420 97.0%	430	
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 健診受診勧奨	ア 勧奨通知送付数	通	目標 実績 達成率	2,880 2,880 100.0%	2,800 2,582 92.2%	3,000 3,000 100.0%	3,000	
イ 健康相談への対応	イ 電話相談受付件数	件	目標 実績 達成率	160 125 78.1%	160 127 79.4%	150 116 77.3%	150	
ウ 被保険者個人の医療費の額を通知	ウ 医療費通知送付回数	回	目標 実績 達成率	6 6 100.0%	6 6 100.0%	2 4 200.0%	2	



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 21		款 09		項 02		目 01		大事業 01		中事業 01		予算上の事業名		事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		保健事業費		保健事業費		保健衛生普及費		保健衛生普及費		保健衛生普及費		保健衛生普及費		
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金	4,610	6,201	9,533			3,332	県支出金	4,808	5,705	11,097			5,392		
町債							町債								
その他特財			1,760			1,760	その他特財			1,760			1,760		
一般財源	4,193	5,298	5,215			-83	一般財源	3,800	3,530	2,075			-1,455		
合計	8,803	11,499	16,508			5,009	合計(A)	8,608	9,235	14,932			5,697		
財源名称	保険給付費等交付金(特別交付金・保険者努力支援制度分)						従事正職員人数	2	2	2	2	2			
	保険給付費等交付金(特別交付金・国特別調整交付金)						延べ業務事務時間	200	200	200	200	200			
							人件費計(千円)(B)	684	672	667	667	667	-5		
	最終予算額		16,508 千円		予算執行率		90.4%		トータルコスト(A+B)		9,292	9,907	15,599	667	667

事業番号	21136	事務事業名	保健衛生普及費	所管課名	健康推進課
------	-------	-------	---------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 特定検診の受診、病気の早期発見・重症化の予防など、住民の健康意識向上への取り組みも引き続き推進されているなか、コロナ禍の影響も少しずつ緩和され、徐々に元の状態に戻りつつある。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 国民健康保険保険者努力支援交付金を活用。検診のほかに健康教室の実施など、住民の健康意識向上に取り組んでいる。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 検診の受診率は伸び悩んでいるものの、世代に関係なく健康や体調管理を心がけている人が増えていることがわかった。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 疾病予防、重症化防止の啓発となり、健康の保持増進に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 医療費の適正化につながるものであり、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 町民の健康づくり推進のために役立つ事業であり、適切である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 事業を通して、検診や健康づくりの重要性を住民に理解されるよう継続して行い、更なる向上を目指す。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 歯科保健事業については、近辺にほかの歯科診療所がない地域であることから影響がある。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 医療費通知の回数、勧奨通知発送の時期等を検討する。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 専門機関への委託や協力が必要である。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 歯科医師、歯科衛生士、保健師、管理栄養士といった、専門職との関わりが必要である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 国保被保険者等への事業は全町民対象ではないが、公平・公正な事業である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	新型コロナウイルス感染症が5類移行後、完全に元の生活には戻れない中ではあるが、疾患の予防・改善、重症化の予防や早期発見につなげるとともに、医療費の削減や介護予防に取り組む大切な事業である。 検診未経験者へのアプローチにより検診受信者も増えてきたが、働き盛りの40～50代の受診率が伸び悩んでいるため、今後も継続して実施する必要がある。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 若年層の受診率を向上させるため、年代別の鑑賞通知の作成・発送を行う。訪問や電話等によるアプローチを増やす。 様々な事業や教室と協力しながら、季節に関係なく、楽しく体を動かせる場を設ける。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
検診になじみのない、若年者の健康意識・受診意識の向上が必要である。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							

事業番号	事務事業名	一般被保険者医療給付費分	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
21201	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	国民健康保険法	柳井 ひとみ

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	平成30年度から都道府県が国民健康保険の財政運営の主体となり、市町村ごとの国民健康保険事業費納付金の額の決定や、保険給付に必要な費用の全額を、市町村に対して支払うこととなり、市町村は、都道府県が市町村ごとに決定した国民健康保険事業費納付金を都道府県に納付する。そのうちの一般被保険者の医療給付費分。	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 国民健康保険の財政運営制度	ア 制度数	制度	見込 実績	1 1	1 1	1 1	1	1
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 円滑に運営する	ア 円滑に運営できた制度数	制度	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 支払業務	ア 支払回数	回	目標 実績 達成率	8 8 100.0%	8 8 100.0%	8 8 100.0%	8	100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらおう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計		21 款		13 項		01 目		01 目		01 大事業 中事業					事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		国民健康保険事業費納付金		医療給付費分		一般被保険者医療給付費分		01 01		一般被保険者医療給付費分					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金	3,013	5,024	5,191	5,200	5,200	167	県支出金	3,545	4,149	5,190	5,200	5,200	1,041			
町債							町債									
その他特財	59,794	60,709	62,230			1,521	その他特財	60,249	61,877	62,230			353			
一般財源	144,261	142,613	149,936	4,470	4,470	7,323	一般財源	136,931	142,319	150,575	4,470	4,470	8,256			
合計	207,068	208,346	217,357	9,670	9,670	9,011	合計(A)	200,725	208,345	217,995	9,670	9,670	9,650			
財源名称	特別交付金・保険者努力支援分						従事正職員人数	1	1	1	1	1				
	保険基盤安定繰入金(保険税軽減分)						延べ業務事務時間	8	8	8	8	8				
	保険基盤安定繰入金(保険者支援分)						人件費計(千円)(B)	27	27	27	27	27	-0			
	最終予算額 217,357 千円						予算執行率	100.2%	トータルコスト(A+B)		200,752	208,372	218,022	9,697		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	法に従い、適切に実施できている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	退職被保険者医療給付費分	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
21202	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	国民健康保険法	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	平成30年度から都道府県が国民健康保険の財政運営の主体となり、市町村ごとの国民健康保険事業費納付金の額の決定や、保険給付に必要な費用の全額を、市町村に対して支払うこととなり、市町村は、都道府県が市町村ごとに決定した国民健康保険事業費納付金を都道府県に納付する。そのうちの退職被保険者の医療給付分	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務付けされている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 国民健康保険の財政運営制度	ア 制度数	制度	見込 実績	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 円滑に運営する	ア 円滑に運営できた制度数	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 支払業務	ア 支払回数	回	目標 実績 達成率	1 0 0.0%	1 0 0.0%	1 1 100.0%	0 0 -	0 0 -
イ	イ		目標 実績 達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 21		款 13		項 01		目 02		大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		国民健康保険事業費納付金		医療給付費分		退職被保険者医療給付費分		01	01	退職被保険者医療給付費分					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比				
国庫支出金						国庫支出金										
県支出金	3	3	3	3	3	県支出金			3			3				
町債						町債										
その他特財						その他特財										
一般財源						一般財源										
合計	3	3	3	3	3	合計(A)			3			3				
財源名称	特別交付金・保険者努力支援分					従事正職員人数	1	1	1	1	1					
	保険基盤安定繰入金(保険税軽減分)					延べ業務事務時間	8	8	8	8	8					
	保険基盤安定繰入金(保険者支援分)					人件費計(千円)(B)	27	27	27	27	27	-0				
	最終予算額 3千円		予算執行率		100.0%	トータルコスト(A+B)	27	27	30	27	27	3				

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	法に従い、適切に実施できている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	一般被保険者後期高齢者支援金等分	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
21203	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	国民健康保険法	柳井 ひとみ

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	平成30年度から都道府県が国民健康保険の財政運営の主体となり、市町村ごとの国保事業費納付金の額の決定や、保険給付に必要な費用の全額を、市町村に対して支払うこととなり、市町村は、都道府県が市町村ごとに決定した納付金を都道府県に納付する。そのうちの一般被保険者の後期高齢者支援金等(後期高齢者支援金及び後期高齢者関係事務費拠出金)分。	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 国民健康保険の財政運営制度	ア 制度数	制度	見込	1	1	1	1	1
イ	イ		実績	1	1	1		
			見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 円滑に運営する	ア 円滑に運営できた制度数	制度	目標	1	1	1	1	1
イ	イ		実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
			目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 支払業務	ア 支払回数	回	目標	8	8	8	8	8
イ	イ		実績	8	8	8		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
			目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計		21		13		02		01		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)	国民健康保険事業費納付金	後期高齢者支援金等分	一般被保険者後期高齢者支援金等分	01	01	一般被保険者後期高齢者支援金等分					21203				
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比				
国庫支出金						国庫支出金										
県支出金						県支出金										
町債						町債										
その他特財	18,526	18,811	19,282	22,151	22,151	471	18,667	19,173	19,282	22,151	22,151	109				
一般財源	48,617	51,643	57,924	63,942	63,942	6,281	48,476	51,280	57,924	63,942	63,942	6,644				
合計	67,143	70,454	77,206	86,093	86,093	6,752	合計(A)	67,143	70,453	77,206	86,093	86,093	6,753			
財源名称	保険基盤安定繰入金(保険税軽減分)					従事正職員人数	1	1	1	1	1					
	保険基盤安定繰入金(保険者支援分)					延べ業務事務時間	8	8	8	8	8					
	財政安定化支援事業繰入金					人件費計(千円)(B)	27	27	27	27	27	-0				
	最終予算額		77,206 千円	予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)	67,170	70,480	77,233	86,120	86,120	6,753				

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	法に従い、適切に実施できている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	介護納付金分	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
21205	政策名	1	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11	根拠法令等	国民健康保険法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	平成30年度から都道府県が国民健康保険の財政運営の主体となり、市町村ごとの国保事業費納付金の額の決定や、保険給付に必要な費用の全額を、市町村に対して支払うこととなり、市町村は、都道府県が市町村ごとに決定した納付金を都道府県に納付する。そのうちの介護納付金分。	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 国民健康保険の財政運営制度	ア 制度数	制度	見込 実績	1 1	1 1	1 1	1	1
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 円滑に運営する	ア 円滑に運営できた制度数	制度	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 支払業務	ア 支払回数	回	目標 実績 達成率	8 8 100.0%	8 8 100.0%	8 8 100.0%	8	8
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計		21 款		13 項		03 目		01 大事業		01 中事業		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		国民健康保険事業費納付金		介護納付金分		介護納付金分		01		01		介護納付金分					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比					
国庫支出金							国庫支出金											
県支出金							県支出金											
町債							町債											
その他特財	5,899	5,986	6,138	4,266	4,266	152	その他特財	5,943	6,100	6,138	4,266	4,266	38					
一般財源	15,646	17,374	14,746	14,922	14,922	-2,628	一般財源	15,602	17,259	14,746	14,922	14,922	-2,513					
合計	21,545	23,360	20,884	19,188	19,188	-2,476	合計(A)	21,545	23,359	20,884	19,188	19,188	-2,475					
財源名称	保険基盤安定繰入金(保険税軽減分)						従事正職員人数	1	1	1	1	1						
	保険基盤安定繰入金(保険者支援分)						延べ業務事務時間	8	8	8	8	8						
	財政安定化支援事業繰入金						人件費計(千円)(B)	27	27	27	27	27	-0					
	最終予算額		20,884 千円	予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)	21,572	23,386	20,911	19,215	19,215	-2,475					

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	法に従い、適切に実施できている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津直診施設経常管理費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
22031	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療としての地域の医療を行う。 ・奥津診療所の経常管理費(委託料・光熱水費等)の支払	昭和58年に女原に新しく建設し運営。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
イ	イ		実績	12,497	12,358	12,116		
			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 奥津診療所の受診者数	人	目標	4,850	4,850	2,500	2,500	
イ	イ		実績	2,409	2,389	3,772		
			達成率	49.7%	49.3%	150.9%		
			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 奥津診療所での診療	ア 奥津診療所の診療日数	日	目標	236	236	236	236	236
イ	イ		実績	196	232	218		
			達成率	83.1%	98.3%	92.4%		92.4%
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 01		項 01		目 01		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		総務費		施設管理費		施設管理費		奥津直診施設経常管理費					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財	8,655	8,957	9,693	14,460	14,460	736	その他特財	6,661	8,497	8,972	14,460	14,460	475	
一般財源							一般財源							
合計	8,655	8,957	9,693	14,460	14,460	736	合計(A)	6,661	8,497	8,972	14,460	14,460	475	
財源名称	事業勘定繰入金						従事正職員人数	2	2	2	2	2		
	雑入						延べ業務事務時間	220	220	220	220	220		
	後期高齢者医療診療報酬収入						人件費計(千円)(B)	753	740	734	734	734	-6	
	最終予算額		9,693 千円	予算執行率		92.5%	トータルコスト(A+B)	7,414	9,237	9,706	15,194	15,194	469	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	受信者数は人口とともに減少傾向であるが、地域住民にとっては「かかりつけ医」としての需要があり、各種ワクチン接種での利用は以前高く、へき地医療として地域の医療を担っている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原直診施設経常管理費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之	
22032	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・上齋原診療所の経常管理費(委託料・光熱水費等)の支払	平成7年度に現在の福祉センターを建設した際に歯科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
			実績	12,497	12,358	12,116		
イ	イ		見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 上齋原診療所の受診者数	人	目標	3,500	3,500	1,700	1,700	1,700
			実績	1,538	1,533	1,721		
			達成率	43.9%	43.8%	101.2%		101.2%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 上齋原診療所での診療	ア 上齋原診療所の診療日数	日	目標	190	190	190	190	190
			実績	153	142	137		
			達成率	80.5%	74.7%	72.1%		72.1%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 01		項 01		目 01		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		総務費		施設管理費		施設管理費		上齋原直診施設経常管理費					
3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比	決算	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比		
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込			
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財	7,813	8,464	7,818	13,086	13,086	-646	その他特財	7,699	7,722	6,991	13,086	13,086	-731	
一般財源							一般財源							
合計	7,813	8,464	7,818	13,086	13,086	-646	合計(A)	7,699	7,722	6,991	13,086	13,086	-731	
財源名称	文書料					従事正職員人数	2	2	2	2	2			
	一般会計繰入金					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220			
	雑入					人件費計(千円)(B)	753	740	734	734	734	-6		
	最終予算額		7,818 千円		予算執行率	89.4%	トータルコスト(A+B)	8,452	8,462	7,725	13,820	13,820	-737	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	上齋原地区の人口の減少と合わせて、1週間の診療日数が全日1日、半日2日と少ないため、受信者数は減少傾向にあるが、地域住民の「かかりつけ医」としての需要や各種ワクチン接種での利用は依然として高く、へき地診療所として地域の医療を担っている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原歯科施設経常管理費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
22033	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・上齋原歯科診療所の医療用消耗機材費の支払	旧上齋原村当時は、奥津の歯科医が診療を行い、その後、津山保健所から派遣をしてもらっていたが、岡山大学からの歯科医師の派遣を経て、平成7年度に現在の福祉センターを建設したとき、内科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
イ	イ		実績	12,497	12,358	12,116		
			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 上齋原歯科診療所の受診者数	人	目標	3,000	3,000	1,500	1,500	1,500
イ	イ		実績	1,326	1,334	1,983		
			達成率	44.2%	44.5%	132.2%		132.2%
			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 上齋原歯科診療所での診療	ア 上齋原歯科診療所の診療日数	日	目標	195	195	195	195	195
イ	イ		実績	192	188	190		
			達成率	98.5%	96.4%	97.4%		97.4%
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 01		項 01		目 01		大事業 04		中事業 03		予算上の事業名					事業番号	
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		総務費		施設管理費		施設管理費						上齋原歯科施設経常管理費						
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比							
国庫支出金							国庫支出金												
県支出金							県支出金												
町債							町債												
その他特財	6,476	7,882	6,583	7,115	7,115	-1,299	その他特財	5,802	6,630	6,430	7,115	7,115	-200						
一般財源							一般財源												
合計	6,476	7,882	6,583	7,115	7,115	-1,299	合計(A)	5,802	6,630	6,430	7,115	7,115	-200						
財源名称	住宅使用料						従事正職員人数	2	2	2	2	2							
	一般会計繰入金						延べ業務事務時間	220	220	220	220	220							
	雑入						人件費計(千円)(B)	753	740	734	734	734	-6						
	最終予算額		6,583 千円		予算執行率		97.6%		トータルコスト(A+B)	6,555	7,370	7,164	7,849	7,849	-206				

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	受信者数に大きな変化はないが、近隣に歯科がないため「かかりつけ医」としての需要が高く、へき地診療所として地域の医療を担っている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	富直診療施設経常管理費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之	
22034	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・富診療所の経常管理費(委託料・光熱水費等)の支払	平成10年の総合福祉センター建設に伴い、歯科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
イ	イ		実績	12,497	12,358	12,116		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 富診療所の受診者数	人	目標	2,700	2,700	1,500	1,500	1,500
イ	イ		実績	1,448	1,360	1,445		
			達成率	53.6%	50.4%	96.3%		96.3%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 富診療所での診療	ア 富診療所の診療日数	日	目標	150	150	150	150	150
イ	イ		実績	143	142	137		
			達成率	95.3%	94.7%	91.3%		91.3%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 01		項 01		目 01		大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		総務費		施設管理費		施設管理費		04	04	富直診療施設経常管理費					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財	8,746	9,211	8,148	9,764	9,764	-1,063	その他特財	8,165	8,193	8,058	9,764	9,764	-135			
一般財源							一般財源									
合計	8,746	9,211	8,148	9,764	9,764	-1,063	合計(A)	8,165	8,193	8,058	9,764	9,764	-135			
財源名称	文書料 富診療所分					従事正職員人数	2	2	2	2	2					
	事業勘定繰入金 富診療所分					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220					
	一般会計繰入金 富診療所分					人件費計(千円)(B)	753	740	734	734	734	-6				
	最終予算額		8,148 千円	予算執行率	98.8%		トータルコスト(A+B)	8,918	8,933	8,792	10,498	10,498	-141			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	人口減少と合わせて、1週間の診療日数が全日2日、半日1日と少なく、受信者数は減少傾向であるが、地域住民の「かかりつけ医」としての需要や各種ワクチン接種での利用は高く、へき地診療所として地域の医療を担っている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	富歯科施設経常管理費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之	
22035	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・富歯科診療所の経常管理費(委託料・光熱水費等)の支払	平成10年の総合福祉センター建設に伴い、富診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
イ	イ		実績	12,497	12,358	12,116		
			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 富歯科診療所の受診者数	人	目標	2,300	2,300	1,600	1,600	1,600
イ	イ		実績	1,530	1,475	2,237		
			達成率	66.5%	64.1%	139.8%		139.8%
			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 富歯科診療所での診療	ア 富歯科診療所の診療日数	日	目標	215	215	215	215	
イ	イ		実績	213	210	206		
			達成率	99.1%	97.7%	95.8%		-
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 01		項 01		目 01		大事業 04		中事業 05		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		総務費		施設管理費		施設管理費						富歯科施設経常管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比
国庫支出金						国庫支出金												
県支出金						県支出金												
町債						町債												
その他特財	4,208	5,056	3,954	4,652	4,652	-1,102	その他特財	3,447	3,890	3,332	4,652	4,652	-558					
一般財源						一般財源												
合計	4,208	5,056	3,954	4,652	4,652	-1,102	合計(A)	3,447	3,890	3,332	4,652	4,652	-558					
財源名称	住宅使用料					従事正職員人数	2	2	2	2	2							
	一般会計繰入金					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220							
	雑入					人件費計(千円)(B)	753	740	734	734	734							-6
	最終予算額		3,954 千円		予算執行率	84.2%	トータルコスト(A+B)	4,200	4,630	4,066	5,386	5,386	-564					

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	人口の減少に伴い、受信者数は徐々に減少傾向にはあるものの、近隣に歯科がないため「かかりつけ医」としての需要が高く、へき地診療所として地域の医療を担っている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津歯科施設経常管理費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
22036	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・奥津歯科診療所の経常管理費(委託料・光熱費等)の支払	地元の要望により、平成24年4月1日に女原の診療所内に開設した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
イ	イ		実績	12,497	12,358	12,116		
			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 奥津歯科診療所の受診者数	人	目標	1,100	1,100	900	900	900
イ	イ		実績	785	777	1,060		
			達成率	71.4%	70.6%	117.8%		117.8%
			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 奥津歯科診療所での診療	ア 奥津歯科診療所の診療日数	日	目標	100	100	100	100	
イ	イ		実績	97	94	96		
			達成率	97.0%	94.0%	96.0%		
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 01		項 01		目 01		大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		総務費		施設管理費		施設管理費		04 06		奥津歯科施設経常管理費					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財	3,431	3,973	3,200	3,555	3,555	-773	その他特財	2,743	3,520	2,991	3,555	3,555	-529			
一般財源							一般財源									
合計	3,431	3,973	3,200	3,555	3,555	-773	合計(A)	2,743	3,520	2,991	3,555	3,555	-529			
財源名称	一般会計繰入金						従事正職員人数	2	2	2	2	2				
	雑入						延べ業務事務時間	220	220	220	220	220				
							人件費計(千円)(B)	753	740	734	734	734	-6			
	最終予算額		3,200 千円		予算執行率	93.4%		トータルコスト(A+B)	3,496	4,260	3,725	4,289	4,289	-535		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	1週間の診療日数は2日と少なく、また、人口の減少に伴い受信者数も徐々に現象傾にあるが、「かかりつけ医」としての需要は依然として高く、へき地診療所として地域の医療を担っている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	岡山県へき地医療拠点病院運営事業費(奥津医科)	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
22057	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療としての地域の医療を行う。 ・日本原病院、榊原病院からの医師派遣負担金等の支払い	昭和58年に女原に新しく建設し運営。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
イ	イ		実績	12,497	12,358	12,116		
			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 奥津診療所の受診者数	人	目標	4,850	4,850	2,500	2,500	2,500
イ	イ		実績	2,409	2,389	3,772		
			達成率	49.7%	49.3%	150.9%		150.9%
			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 奥津診療所での診療	ア 奥津診療所の診療日数	日	目標	236	236	236	236	
イ	イ		実績	196	232	218		
			達成率	83.1%	98.3%	92.4%		-
			目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 01		項 01		目 03		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		総務費		施設管理費		へき地医療拠点病院運営事業費		岡山県へき地医療拠点病院運営事業費(奥津医科)					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財	1,650	3,575	3,575	2,833	2,833	その他特財	1,590	3,020	3,220	2,833	2,833	200		
一般財源						一般財源								
合計	1,650	3,575	3,575	2,833	2,833	合計(A)	1,590	3,020	3,220	2,833	2,833	200		
財源名称	一般会計繰入金					従事正職員人数	2	2	2	2	2			
	後期高齢者医療診療報酬収入					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220			
						人件費計(千円)(B)	753	740	734	734	734	-6		
	最終予算額		3,575 千円	予算執行率	90.0%		トータルコスト(A+B)	2,343	3,760	3,954	3,567	3,567	194	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	鏡野病院からの医師派遣だけでは賄いきれず、週5回の診療日数のうち、2日間は医師を派遣してもらっている。へき地診療として診療日数を確保するため、今後も必用である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原歯科施設保健事業費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之	
22503	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)等		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・上齋原歯科診療所の歯科に係る在宅ケアを推進するため、寝たきり老人等に対し、歯科診療・指導等を行う事業費の支払	旧上齋原村当時は、奥津の歯科医が診療を行い、その後、津山保健所から派遣をしてもらっていたが、岡山大学からの歯科医師の派遣を経て平成7年度に現在の福祉センターを建設したとき、内科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
			実績	12,497	12,358	12,116		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 上齋原歯科診療所の受診者数	人	目標	3,000	3,000	1,500	1,500	1,500
			実績	1,326	1,334	1,983		
			達成率	44.2%	44.5%	132.2%		132.2%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 上齋原歯科診療所での診療	ア 上齋原歯科診療所の診療日数	日	目標	195	195	195	195	195
			実績	192	188	190		
			達成率	98.5%	96.4%	97.4%		97.4%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 01		項 03		目 02		大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		総務費		保健事業費		歯科保健事業費		01	01	上齋原歯科施設保健事業費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	前年比			
国庫支出金						国庫支出金										
県支出金						県支出金										
町債						町債										
その他特財	3,302	3,392	3,340	3,280	3,280	-52	その他特財	2,559	2,997	2,710	3,280	3,280	-287			
一般財源						一般財源										
合計	3,302	3,392	3,340	3,280	3,280	-52	合計(A)	2,559	2,997	2,710	3,280	3,280	-287			
財源名称	事業勘定繰入金					従事正職員人数		2	2	2	2	2				
	一般会計繰入金					延べ業務事務時間		220	200	200	200	200				
						人件費計(千円)(B)		753	672	667	667	667	-5			
	最終予算額		3,340 千円	予算執行率		81.1%	トータルコスト(A+B)		3,312	3,669	3,377	3,947	3,947	-292		

事業番号	22503	事務事業名	上齋原歯科施設保健事業費	所管課名	健康推進課
------	-------	-------	--------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 地域医療の充実に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 近辺にほかの歯科診療所が無い地域であることから、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 町民の健康づくり推進のためになっており、適切である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 事業の重要性が町民に理解されるよう継続して行い、成果の向上を目指す。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 近辺にほかの歯科診療所が無い地域であることから、影響がある。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 本事業が周知されるよう、広報を行う。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 専門機関の協力が必要である。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 歯科医師、歯科衛生士、保健師、管理栄養士といった専門職の関わりが必要である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 希望者全てに対して行うことができるため、公平・公正な事業である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	疾病(肺炎)の早期治療につながった事例もあり、医療費の削減に貢献できた。また、対象者が摂食嚥下できない食形態での食事を防止できたため、肺炎予防、窒息予防に効果があった。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 町民への本事業の周知や、必要とする施設、居宅高齢者への対応を増やす努力が必要である。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
本事業の広報を行う。 摂食嚥下専門の歯科医師、言語聴覚士、歯科衛生士といった専門職が不足している。																									

事業番号	事務事業名	富歯科施設保健事業費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
22505	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)等		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・富歯科診療所の歯科に係る在宅ケアを推進するため、寝たきり老人等に対し、歯科診療・指導等を行う事業費の支払	歯科診療所の開設に伴い、歯科に係る保健指導を行う事業に取り組む。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
			実績	12,497	12,358	12,116		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 富歯科診療所の受診者数	人	目標	2,300	2,300	1,600	1,600	1,600
			実績	1,530	1,475	2,237		
			達成率	66.5%	64.1%	139.8%		139.8%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 富歯科診療所での診療	ア 富歯科診療所の診療日数	日	目標	215	215	215	215	215
			実績	213	210	206		
			達成率	99.1%	97.7%	95.8%		95.8%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 01		項 03		目 02		大事業		中事業		予算上の事業名			事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		総務費		保健事業費		歯科保健事業費		01	02	富歯科施設保健事業費			22505		
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財	5,673	3,525	3,525	3,525	3,525		その他特財	4,130	3,349	3,364	3,525	3,525	15			
一般財源							一般財源									
合計	5,673	3,525	3,525	3,525	3,525		合計(A)	4,130	3,349	3,364	3,525	3,525	15			
財源名称	事業勘定繰入金						従事正職員人数	2	2	2	2	2				
	一般会計繰入金						延べ業務事務時間	220	200	200	200	200				
							人件費計(千円)(B)	753	672	667	667	667	-5			
	最終予算額		3,525 千円	予算執行率	95.4%	トータルコスト(A+B)		4,883	4,021	4,031	4,192	4,192	10			

1枚目

事業番号	22505	事務事業名	富歯科施設保健事業費	所管課名	健康推進課
------	-------	-------	------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	コロナ禍でマスクを着用する機会が増えたことにより、口腔内の細菌が増殖し、口臭、う歯及び歯周病に関する相談が増加している。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	口腔内検査の結果を基に、関係機関と連携して病気の早期発見・早期治療につなげている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?	口腔内の指導や介入に対して、多くの利用者が満足している。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 地域医療の充実に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 周辺にほかの歯科診療所が無い地域であることから、妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 町民の健康づくり推進のためのなっており、適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 事業の大切さが町民に理解されるよう継続して行い、成果の向上を目指す。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 近辺にほかの歯科診療所が無い地域であることから、影響がある。
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 本事業が周知されるよう、広報を行う。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 専門機関の協力が必要である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 歯科医師、歯科衛生士、保健師、管理栄養士といった専門職の関わりが必要である。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 希望者全てに対して行うことができるため、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	口内環境を整えることが全身疾患の予防や悪化を防ぐ効果があっただけでなく、医療費の削減にもつながった。また、口腔機能の向上が肺炎防止や低栄養の予防となり、介護予防につながった。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 最も対策が必要とされる30～50代男性の利用が少ないため、土日や平日夜に実施するなどの必要がある。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
本事業の広報を行う。 利用しやすいよう、土日や平日の夜に実施する																									

事業番号	事務事業名	奥津直診施設医療用機械器具費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
22071	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療としての地域の医療を行う。 ・奥津診療所での医療用器具の購入・修繕費等の支払	昭和58年に女原に新しく建設し運営。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	→	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
イ	→	イ		実績	12,497	12,358	12,116		
				見込					
				実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	→	ア 奥津診療所の受診者数	人	目標	4,850	4,850	2,500	2,500	2,500
イ	→	イ		実績	2,409	2,389	3,772		
				達成率	49.7%	49.3%	150.9%		150.9%
				目標					
				実績					
				達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 奥津診療所での診療	→	ア 奥津診療所の診療日数	日	目標	236	236	236	236	236
イ	→	イ		実績	196	232	218		
				達成率	83.1%	98.3%	92.4%		92.4%
				目標					
				実績					
				達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 01		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		医療用機械器具費		奥津直診施設医療用機械器具費					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財	1,434	1,840	1,491	1,782	1,782	-349	その他特財	565	1,050	1,661	1,782	1,782	611	
一般財源							一般財源							
合計	1,434	1,840	1,491	1,782	1,782	-349	合計(A)	565	1,050	1,661	1,782	1,782	611	
財源名称	一部負担金収入						従事正職員人数	2	2	2	2	2		
	事業勘定繰入金						延べ業務事務時間	220	220	220	220	220		
	後期高齢者医療診療報酬収入						人件費計(千円)(B)	753	740	734	734	734	-6	
	最終予算額		1,491 千円		予算執行率	111.4%		トータルコスト(A+B)	1,318	1,790	2,395	2,516	2,516	605

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	地域医療を担う医療機関として、最低限の医療用機械器具は必要であり、今後も計画的に保守、修繕及び購入をしていく。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原直診施設医療用機械器具費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
22072	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・上齋原診療所の医療用機器の購入・修繕費等の支払	平成7年度に現在の福祉センターを建設した際に、歯科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
イ	イ		実績	12,497	12,358	12,116		
			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 上齋原診療所の受診者数	人	目標	3,500	3,500	1,700	1,700	1,700
イ	イ		実績	1,538	1,533	1,721		
			達成率	43.9%	43.8%	101.2%		101.2%
			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 上齋原診療所での診療	ア 上齋原診療所の診療日数	日	目標	190	190	190	190	190
イ	イ		実績	153	142	137		
			達成率	80.5%	74.7%	72.1%		72.1%
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 01		01 大事業		02 中事業		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		医療用機械器具費		01		02		上齋原直診施設医療用機械器具費					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比					
国庫支出金							国庫支出金											
県支出金							県支出金											
町債							町債											
その他特財	587	678	832	2,897	2,897	154	その他特財	466	345	805	2,897	2,897	460					
一般財源							一般財源											
合計	587	678	832	2,897	2,897	154	合計(A)	466	345	805	2,897	2,897	460					
財源名称	一部負担金収入						従事正職員人数	2	2	2	2	2						
	事業勘定繰入金						延べ業務事務時間	220	220	220	220	220						
	後期高齢者医療診療報酬収入						人件費計(千円)(B)	753	740	734	734	734	-6					
	最終予算額		832 千円	予算執行率	96.7%		トータルコスト(A+B)	1,219	1,085	1,539	3,631	3,631	454					

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	地域医療を担う医療機関として、最低限の医療用機械器具は必要であり、今後も計画的に保守、修繕及び購入をしていく。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原歯科施設医療用機械器具費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
22073	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・上齋原歯科診療所の医療機器消耗品費、修繕料、機械器具購入費の支払	旧上齋原村当時は奥津の歯科医が診療を行い、その後、津山保健所から派遣をしてもらっていたが、岡山大学からの歯科医師の派遣を経て平成7年度に現在の福祉センターを建設したとき、内科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
イ	イ		実績	12,497	12,358	12,116		
			見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 上齋原歯科診療所の受診者数	人	目標	3,000	3,000	1,500	1,500	1,500
イ	イ		実績	1,326	1,334	1,983		
			達成率	44.2%	44.5%	132.2%		132.2%
			目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 上齋原歯科診療所での診療	ア 上齋原歯科診療所の診療日数	日	目標	195	195	195	195	195
イ	イ		実績	192	188	190		
			達成率	98.5%	96.4%	97.4%		97.4%
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 01		01 大事業		03 中事業		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		医療用機械器具費		01		03		上齋原歯科施設医療用機械器具費					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比					
国庫支出金							国庫支出金											
県支出金							県支出金											
町債							町債											
その他特財	112	285	1,617	80	80	1,332	その他特財	92	241	1,768	80	80	1,527					
一般財源							一般財源											
合計	112	285	1,617	80	80	1,332	合計(A)	92	241	1,768	80	80	1,527					
財源名称	社会保険診療報酬収入						従事正職員人数	2	2	2	2	2	2					
	事業勘定繰入金						延べ業務事務時間	220	220	220	220	220						
	後期高齢者医療診療報酬収入						人件費計(千円)(B)	753	740	734	734	734	-6					
	最終予算額		1,617 千円		予算執行率	109.3%		トータルコスト(A+B)	845	981	2,502	814	814	1,521				

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	地域医療を担う医療機関として、最低限の医療用機械器具は必要であり、今後も計画的に保守、修繕及び購入をしていく。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	富直診施設医療用機械器具費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之	
22074	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・富診療所の経常管理費(委託料・光熱水費等)の支払	平成10年の総合福祉センター建設に伴い、歯科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
イ	イ		実績	12,497	12,358	12,116		
			見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 富診療所の受診者数	人	目標	2,700	2,700	1,500	1,500	1,500
イ	イ		実績	1,448	1,360	1,445		
			達成率	53.6%	50.4%	96.3%		96.3%
			目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 富診療所での診療	ア 富診療所の診療日数	日	目標	150	150	150	150	150
イ	イ		実績	143	142	137		
			達成率	95.3%	94.7%	91.3%		91.3%
			目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 01		01 大事業		04 中事業		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		医療用機械器具費		01		04		富直診施設医療用機械器具費					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比					
国庫支出金							国庫支出金											
県支出金							県支出金											
町債							町債											
その他特財	1,618	1,618	1,727	1,687	1,687	109	その他特財	1,151	1,130	1,648	1,687	1,687	518					
一般財源							一般財源											
合計	1,618	1,618	1,727	1,687	1,687	109	合計(A)	1,151	1,130	1,648	1,687	1,687	518					
財源名称	文書料 富診療所分						従事正職員人数	2	2	2	2	2						
	事業勘定繰入金 富診療所分						延べ業務事務時間	220	220	220	220	220						
	一般会計繰入金 富診療所分						人件費計(千円)(B)	753	740	734	734	734	-6					
	最終予算額		1,727 千円		予算執行率	95.4%		トータルコスト(A+B)	1,904	1,870	2,382	2,421	2,421	512				

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	地域医療を担う医療機関として、最低限の医療用機械器具は必要であり、今後も計画的に保守、修繕及び購入をしていく。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	富歯科施設医療用機械器具費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
22075	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・富歯科診療所の医療用機器の購入費・修繕料等の支払	平成10年の総合福祉センター建設に伴い、富診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
イ	イ		実績	12,497	12,358	12,116		
			見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 富歯科診療所の受診者数	人	目標	2,300	2,300	1,600	1,600	
イ	イ		実績	1,530	1,475	2,237		1,600
			達成率	66.5%	64.1%	139.8%		-
			目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 富歯科診療所での診療	ア 富歯科診療所の診療日数	日	目標	215	215	215	215	215
イ	イ		実績	213	210	206		
			達成率	99.1%	97.7%	95.8%		95.8%
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 01		大事業 中事業					事業番号	
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		医療用機械器具費		富歯科施設医療用機械器具費						
3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比	決算	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比			
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	483	519	1,136	5,981	5,981	617	470	489	1,068	5,981	5,981	579			
一般財源															
合計	483	519	1,136	5,981	5,981	617	合計(A)	470	489	1,068	5,981	5,981	579		
財源名称	国民健康保険診療報酬収入				従事正職員人数		2	2	2	2	2				
	社会保険診療報酬収入				延べ業務事務時間		220	220	220	220	220				
	事業勘定繰入金				人件費計(千円)(B)		753	740	734	734	734	-6			
	最終予算額		1,136 千円		予算執行率		94.0%		トータルコスト(A+B)		1,223	1,229	1,802	6,715	6,715

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	地域医療を担う医療機関として、最低限の医療用機械器具は必要であり、今後も計画的に保守、修繕及び購入をしていく。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津歯科施設医療用機械器具費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
22076	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・奥津歯科診療所の医療用器械消耗品費、修繕料の支払	地元の要望により、平成24年4月1日に、女原の診療所内に開設した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	→	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
イ	→	イ		実績	12,497	12,358	12,116		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	→	ア 奥津歯科診療所の受診者数	人	目標	1,100	1,100	900	900	900
イ	→	イ		実績	785	777	1,060		
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 奥津歯科診療所での診療	→	ア 奥津歯科診療所の診療日数	日	目標	100	100	100	100	100
イ	→	イ		実績	97	94	96		

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 01		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		医療用機械器具費		奥津歯科施設医療用機械器具費					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財	90	111	1,722	70	70	1,611	その他特財	3	51	1,662	70	70	1,611	
一般財源							一般財源							
合計	90	111	1,722	70	70	1,611	合計(A)	3	51	1,662	70	70	1,611	
財源名称	国民健康保険診療報酬収入						従事正職員人数	2	2	2	2	2		
	事業勘定繰入金						延べ業務事務時間	220	220	220	220	220		
	後期高齢者医療診療報酬収入						人件費計(千円)(B)	753	740	734	734	734	-6	
	最終予算額		1,722 千円		予算執行率	96.5%		トータルコスト(A+B)	756	791	2,396	804	804	1,605

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	地域医療を担う医療機関として、最低限の医療用機械器具は必要であり、今後も計画的に保守・修繕及び購入をしていく。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津直診施設医療用消耗機材費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之	
22081	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療としての地域の医療を行う。 ・奥津診療所での医療用消耗機材費の支払	昭和58年に女原に新しく建設し運営。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
イ	イ		実績	12,497	12,358	12,116		
			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 奥津診療所の受診者数	人	目標	4,850	4,850	2,500	2,500	2,500
イ	イ		実績	2,409	2,389	3,772		
			達成率	49.7%	49.3%	150.9%		150.9%
			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 奥津診療所での診療	ア 奥津診療所の診療日数	日	目標	236	236	236	236	236
イ	イ		実績	196	232	218		
			達成率	83.1%	98.3%	92.4%		92.4%
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 02		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		医療用消耗器材費		奥津直診施設医療用消耗機材費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財	600	600	680	600	600	80	538	365	606	600	600	241		
一般財源							一般財源							
合計	600	600	680	600	600	80	合計(A)	538	365	606	600	600	241	
財源名称	一部負担金収入					従事正職員人数	2	2	2	2	2			
	事業勘定繰入金					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220			
	後期高齢者医療診療報酬収入					人件費計(千円)(B)	753	740	734	734	734	-6		
	最終予算額		680 千円	予算執行率	89.1%		トータルコスト(A+B)	1,291	1,105	1,340	1,334	1,334	235	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	医療用に使用される消耗機材(試験用薬品、針、部品等)の在庫管理を適切に行い、計画的に購入する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原直診施設医療用消耗機材費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
22082	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・上齋原診療所の医療用消耗機材費の支払	平成7年度に現在の福祉センターを建設した際に、歯科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
イ	イ		実績	12,497	12,358	12,116		
			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 上齋原診療所の受診者数	人	目標	3,500	3,500	1,700	1,700	1,700
イ	イ		実績	1,538	1,533	1,721		
			達成率	43.9%	43.8%	101.2%		101.2%
			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 上齋原診療所での診療	ア 上齋原診療所の診療日数	日	目標	190	190	190	190	190
イ	イ		実績	153	142	137		
			達成率	80.5%	74.7%	72.1%		72.1%
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 02		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		医療用消耗器材費		上齋原直診施設医療用消耗機材費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財	480	480	350	240	240	-130	その他特財	231	217	293	240	240	76	
一般財源						一般財源								
合計	480	480	350	240	240	-130	合計(A)	231	217	293	240	240	76	
財源名称	国民健康保険診療報酬収入					従事正職員人数	2	2	2	2	2			
	事業勘定繰入金					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220			
	後期高齢者医療診療報酬収入					人件費計(千円)(B)	753	740	734	734	734	-6		
	最終予算額		350 千円	予算執行率	83.7%		トータルコスト(A+B)	984	957	1,027	974	974	70	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	医療用に使用される消耗機材(試験用薬品、針、部品等)の在庫管理を適切に行い、計画的に購入する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原歯科施設医療用消耗機材費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
22083	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・上齋原歯科診療所の医療用消耗機材費の支払	旧上齋原村当時は、奥津の歯科医が診療を行い、その後、津山保健所から派遣をしてもらっていたが、岡山大学からの歯科医師の派遣を経て、平成7年度に現在の福祉センターを建設したとき、内科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
イ	イ		実績	12,497	12,358	12,116		
			見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 上齋原歯科診療所の受診者数	人	目標	3,000	3,000	1,500	1,500	1,500
イ	イ		実績	1,326	1,334	1,983		
			達成率	44.2%	44.5%	132.2%		132.2%
			目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 上齋原歯科診療所での診療	ア 上齋原歯科診療所の診療日数	日	目標	195	195	195	195	195
イ	イ		実績	192	188	190		
			達成率	98.5%	96.4%	97.4%		97.4%
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 02		予算上の事業名					事業番号	
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		医療用消耗器材費		上齋原歯科施設医療用消耗機材費						
3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比	決算	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比			
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	121	120	120	120	120	その他特財	121	111	3	120	120	-108			
一般財源						一般財源									
合計	121	120	120	120	120	合計(A)	121	111	3	120	120	-108			
財源名称	社会保険診療報酬収入				従事正職員人数		2	2				-2			
	事業勘定繰入金				延べ業務事務時間		220	220				-220			
	後期高齢者医療診療報酬収入				人件費計(千円)(B)		753	740				-740			
	最終予算額		120 千円		予算執行率		2.5%		トータルコスト(A+B)		874	851	3	120	120

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	医療用に使用される消耗機材(試験用薬品、針、部品等)の在庫管理を適切に行い、計画的に購入する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	富直診施設医療用消耗機材費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
22084	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・富診療所の医療用消耗機材費の支払	平成10年の総合福祉センター建設に伴い、歯科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
			実績	12,497	12,358	12,116		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 富診療所の受診者数	人	目標	2,700	2,700	1,500	1,500	1,500
			実績	1,448	1,360	1,445		
			達成率	53.6%	50.4%	96.3%		96.3%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 富診療所での診療	ア 富診療所の診療日数	日	目標	150	150	150	150	150
			実績	143	142	137		
			達成率	95.3%	94.7%	91.3%		91.3%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 02		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		医療用消耗器材費		富直診施設医療用消耗機材費					
3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比	決算	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比		
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込			
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財	360	360	300	240	240	-60	その他特財	344	329	250	240	240	-79	
一般財源							一般財源							
合計	360	360	300	240	240	-60	合計(A)	344	329	250	240	240	-79	
財源名称	国民健康保険診療報酬収入					従事正職員人数	2	2	2	2	2			
	社会保険診療報酬収入					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220			
	後期高齢者医療診療報酬収入					人件費計(千円)(B)	753	740	734	734	734	-6		
	最終予算額		300 千円	予算執行率	83.3%		トータルコスト(A+B)	1,097	1,069	984	974	974	-85	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	医療用に使用される消耗機材(試験用薬品、針、部品等)の在庫管理を適切に行い、計画的に購入する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	富歯科施設医療用消耗機材費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
22085	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・富歯科診療所の医療用消耗機材費の支払	平成10年の総合福祉センター建設に伴い、富診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
イ	イ		実績	12,497	12,358	12,116		
			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 富歯科診療所の受診者数	人	目標	2,300	2,300	1,600	1,600	1,600
イ	イ		実績	1,530	1,475	2,237		
			達成率	66.5%	64.1%	139.8%		139.8%
			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 富歯科診療所での診療	ア 富歯科診療所の診療日数	日	目標	215	215	215	215	215
イ	イ		実績	213	210	206		
			達成率	99.1%	97.7%	95.8%		95.8%
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 02		大事業 中事業					事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		医療用消耗器材費		富歯科施設医療用消耗機材費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財	1,684	1,860	1,779	1,800	1,800	-81	その他特財	1,684	1,778	1,768	1,800	1,800	-10	
一般財源						一般財源								
合計	1,684	1,860	1,779	1,800	1,800	-81	合計(A)	1,684	1,778	1,768	1,800	1,800	-10	
財源名称	国民健康保険診療報酬収入					従事正職員人数	2	2	21	2	2	19		
	事業勘定繰入金					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220			
	後期高齢者医療診療報酬収入					人件費計(千円)(B)	753	740	734	734	734	-6		
	最終予算額		1,779 千円	予算執行率	99.3%		トータルコスト(A+B)	2,437	2,518	2,502	2,534	2,534	-16	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	医療用に使用される消耗機材(試験用薬品、針、部品等)の在庫管理を適切に行い、計画的に購入する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津歯科診療所医療用消耗機材費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
22086	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・奥津歯科診療所の医療用消耗機材費の支払	地元の要望により、平成24年4月1日に女原の診療所内に開設した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
イ	イ		実績	12,497	12,358	12,116		
			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 奥津歯科診療所の受診者数	人	目標	1,100	1,100	900	900	900
イ	イ		実績	785	777	1,060		
			達成率	71.4%	70.6%	117.8%		117.8%
			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 奥津歯科診療所での診療	ア 奥津歯科診療所の診療日数	日	目標	100	100	100	100	100
イ	イ		実績	97	94	96		
			達成率	97.0%	94.0%	96.0%		96.0%
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 02		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		医療用消耗器材費		奥津歯科診療所医療用消耗機材費					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財	240	240	240	200	200		その他特財	87	65	122	200	200	57	
一般財源							一般財源							
合計	240	240	240	200	200		合計(A)	87	65	122	200	200	57	
財源名称	国民健康保険診療報酬収入						従事正職員人数	2	2	2	2	2		
	事業勘定繰入金						延べ業務事務時間	220	220	220	220	220		
	後期高齢者医療診療報酬収入						人件費計(千円)(B)	753	740	734	734	734	-6	
	最終予算額		240 千円		予算執行率		50.8%	トータルコスト(A+B)		840	805	856	934	934

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	医療用に使用される消耗機材(試験用薬品、針、部品等)の在庫管理を適切に行い、計画的に購入する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津直診施設医薬品衛生材料費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
22091	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療としての地域の医療を行う。 ・奥津診療所の内服・外用・注射等の医薬品衛生材料費の支払	昭和58年に女原に新しく建設し運営。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	→	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
イ	→			実績	12,497	12,358	12,116		
				見込					
				実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	→	ア 奥津診療所の受診者数	人	目標	4,850	4,850	2,500	2,500	2,500
				実績	2,409	2,389	3,772		
				達成率	49.7%	49.3%	150.9%		150.9%
イ	→			目標					
				実績					
				達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 奥津診療所での診療	→	ア 奥津診療所の診療日数	日	目標	236	236	236	236	236
				実績	196	232	218		
				達成率	83.1%	98.3%	92.4%		92.4%
イ	→			目標					
				実績					
				達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 03		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医薬費		医薬費		医薬品衛生材料費		奥津直診施設医薬品衛生材料費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財	29,944	30,000	22,694	24,000	24,000	-7,306	その他特財	26,429	24,773	22,694	24,000	24,000	-2,079	
一般財源						一般財源								
合計	29,944	30,000	22,694	24,000	24,000	-7,306	合計(A)	26,429	24,773	22,694	24,000	24,000	-2,079	
財源名称	国民健康保険診療報酬収入					従事正職員人数	2	2	2	2	2			
	一部負担金収入					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220			
	後期高齢者医療診療報酬収入					人件費計(千円)(B)	753	740	734	734	734	-6		
	最終予算額 22,694 千円					予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)	27,182	25,513	23,428	24,734	24,734	-2,085

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	医療用に使用される消耗品(包帯、ガーゼ、脱脂綿、医薬品等)の在庫管理を適切に行い、計画的に購入する必要がある。
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原直診施設医薬品衛生材料費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
22092	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・上齋原診療所の内服・外用・注射等の医薬品衛生材料費の支払	平成7年度に現在の福祉センターを建設した際に、歯科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込 実績	11,970 12,497	11,800 12,358	11,627 12,116	11,455	11,280
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 上齋原診療所の受診者数	人	目標 実績 達成率	3,500 1,538 43.9%	3,500 1,533 43.8%	1,700 1,721 101.2%	1,700	-
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 上齋原診療所での診療	ア 上齋原診療所の診療日数	日	目標 実績 達成率	190 153 80.5%	190 142 74.7%	190 137 72.1%	190	-
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 03		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医薬費		医薬費		医薬品衛生材料費		上齋原直診施設医薬品衛生材料費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財	26,400	19,200	9,906	11,000	11,000	-9,294	その他特財	13,795	9,283	9,291	11,000	11,000	8	
一般財源						一般財源								
合計	26,400	19,200	9,906	11,000	11,000	-9,294	合計(A)	13,795	9,283	9,291	11,000	11,000	8	
財源名称	一部負担金収入					従事正職員人数	2	2	2	2	2			
	一般会計繰入金					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220			
	後期高齢者医療診療報酬収入					人件費計(千円)(B)	753	740	734	734	734	-6		
	最終予算額		9,906 千円	予算執行率	93.7%		トータルコスト(A+B)	14,548	10,023	10,025	11,734	11,734	2	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	医療用に使用される消耗品(包帯、ガーゼ、脱脂綿、医薬品等)の在庫管理を適切に行い、計画的に購入する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原歯科施設医薬品衛生材料費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之	
22093	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・上齋原歯科診療所の技工料及び内服・外用・注射等の医薬品衛生材料費の支払	旧上齋原村当時は、奥津の歯科医が診療を行い、その後、津山保健所から派遣をしてもらっていたが、岡山大学からの歯科医師の派遣を経て平成7年度に現在の福祉センターを建設したとき、内科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
			実績	12,497	12,358	12,116		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 上齋原歯科診療所の受診者数	人	目標	3,000	3,000	1,500	1,500	1,500
			実績	1,326	1,334	1,983		
			達成率	44.2%	44.5%	132.2%		132.2%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 上齋原歯科診療所での診療	ア 上齋原歯科診療所の診療日数	日	目標	195	195	195	195	195
			実績	192	188	190		
			達成率	98.5%	96.4%	97.4%		97.4%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 03		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医薬費		医薬費		医薬品衛生材料費		上齋原歯科施設医薬品衛生材料費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財	7,657	10,000	8,100	6,840	6,840	-1,900	その他特財	6,865	7,778	6,970	6,840	6,840	-808	
一般財源						一般財源								
合計	7,657	10,000	8,100	6,840	6,840	-1,900	合計(A)	6,865	7,778	6,970	6,840	6,840	-808	
財源名称	社会保険診療報酬収入					従事正職員人数	2	2	2	2	2			
	事業勘定繰入金					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220			
	後期高齢者医療診療報酬収入					人件費計(千円)(B)	753	740	734	734	734	-6		
	最終予算額		8,100 千円	予算執行率	86.0%		トータルコスト(A+B)	7,618	8,518	7,704	7,574	7,574	-814	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	医療用に使用される消耗品(包帯、ガーゼ、脱脂綿、医薬品等)の在庫管理を適切に行い、計画的に購入する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	富直診施設医薬品衛生材料費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
22094	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・富診療所の内服・外用・注射等の医薬品衛生材料費の支払	平成10年の総合福祉センター建設に伴い、歯科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
			実績	12,497	12,358	12,116		
イ			見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 富診療所の受診者数	人	目標	2,700	2,700	1,500	1,500	1,500
			実績	1,448	1,360	1,445		
			達成率	53.6%	50.4%	96.3%		96.3%
イ			目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 富診療所での診療	ア 富診療所の診療日数	日	目標	150	150	150	150	150
			実績	143	142	137		
			達成率	95.3%	94.7%	91.3%		91.3%
イ			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 03		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医薬費		医薬費		医薬品衛生材料費		富直診施設医薬品衛生材料費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財	13,200	12,000	9,500	9,000	9,000	-2,500	その他特財	11,672	9,696	8,670	9,000	9,000	-1,026	
一般財源						一般財源								
合計	13,200	12,000	9,500	9,000	9,000	-2,500	合計(A)	11,672	9,696	8,670	9,000	9,000	-1,026	
財源名称	国民健康保険診療報酬収入					従事正職員人数	2	2	2	2	2			
	一部負担金収入					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220			
	後期高齢者医療診療報酬収入					人件費計(千円)(B)	753	740	734	734	734	-6		
	最終予算額		9,500 千円	予算執行率	91.2%		トータルコスト(A+B)	12,425	10,436	9,404	9,734	9,734	-1,032	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	医療用に使用される消耗品(包帯、ガーゼ、脱脂綿、医薬品等)の在庫管理を適切に行い、計画的に購入する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	富歯科施設医薬品衛生材料費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
22095	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・富歯科診療所の技工料及び内服・外用・注射等の医薬品衛生材料費の支払	平成10年の総合福祉センター建設に伴い、内科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	→	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
イ	→			実績	12,497	12,358	12,116		
				見込					
				実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	→	ア 富歯科診療所の受診者数	人	目標	2,300	2,300	1,600	1,600	1,600
				実績	1,530	1,475	2,237		
				達成率	66.5%	64.1%	139.8%		139.8%
イ	→			目標					
				実績					
				達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 富歯科診療所での診療	→	ア 富歯科診療所の診療日数	日	目標	215	215	215	215	215
				実績	213	210	206		
				達成率	99.1%	97.7%	95.8%		95.8%
イ	→			目標					
				実績					
				達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 03		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医薬費		医薬費		医薬品衛生材料費		富歯科施設医薬品衛生材料費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財	2,876	3,000	2,700	2,700	2,700	-300	その他特財	2,458	2,733	2,474	2,700	2,700	-259	
一般財源						一般財源								
合計	2,876	3,000	2,700	2,700	2,700	-300	合計(A)	2,458	2,733	2,474	2,700	2,700	-259	
財源名称	国民健康保険診療報酬収入					従事正職員人数	2	2	2	2	2			
	事業勘定繰入金					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220			
	後期高齢者医療診療報酬収入					人件費計(千円)(B)	753	740	734	734	734	-6		
	最終予算額		2,700 千円	予算執行率	91.6%		トータルコスト(A+B)	3,211	3,473	3,208	3,434	3,434	-265	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	医療用に使用される消耗品(包帯、ガーゼ、脱脂綿、医薬品等)の在庫管理を適切に行い、計画的に購入する必要がある。
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津歯科施設医薬品衛生材料費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
22096	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・奥津歯科診療所の技工料及び内服・外用・注射等の医薬品衛生材料費の支払	地元の要望により、平成24年4月1日に女原の診療所内に開設した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	→	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
イ	→	イ		実績	12,497	12,358	12,116		
				見込					
				実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	→	ア 奥津歯科診療所の受診者数	人	目標	1,100	1,100	900	900	900
イ	→	イ		実績	785	777	1,060		
				達成率	71.4%	70.6%	117.8%		117.8%
				目標					
				実績					
				達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 奥津歯科診療所での診療	→	ア 奥津歯科診療所の診療日数	日	目標	100	100	100	100	100
イ	→	イ		実績	97	94	96		
				達成率	97.0%	94.0%	96.0%		96.0%
				目標					
				実績					
				達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 03		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医薬費		医薬費		医薬品衛生材料費		奥津歯科施設医薬品衛生材料費					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財	2,280	2,360	2,290	2,240	2,240	-70	その他特財	2,061	2,328	2,033	2,240	2,240	-295	
一般財源							一般財源							
合計	2,280	2,360	2,290	2,240	2,240	-70	合計(A)	2,061	2,328	2,033	2,240	2,240	-295	
財源名称	国民健康保険診療報酬収入						従事正職員人数	2	2	2	2	2		
	事業勘定繰入金						延べ業務事務時間	220	220	220	220	220		
	後期高齢者医療診療報酬収入						人件費計(千円)(B)	753	740	734	734	734	-6	
	最終予算額		2,290 千円		予算執行率	88.7%		トータルコスト(A+B)	2,814	3,068	2,767	2,974	2,974	-301

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	医療用に使用される消耗品(包帯、ガーゼ、脱脂綿、医薬品等)の在庫管理を適切に行い、計画的に購入する必要がある。
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津直診施設検査料	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之	
22101	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療としての地域の医療を行う。 ・奥津診療所の血液検査等の委託手数料の支払	昭和58年に女原に新しく建設し運営。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
			実績	12,497	12,358	12,116		
イ			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 奥津診療所の受診者数	人	目標	4,850	4,850	2,500	2,500	2,500
			実績	2,409	2,389	3,772		
			達成率	49.7%	49.3%	150.9%		150.9%
イ			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 奥津診療所での診療	ア 奥津診療所の診療日数	日	目標	236	236	236	236	236
			実績	196	232	221		
			達成率	83.1%	98.3%	93.6%		93.6%
イ			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 04		予算上の事業名					事業番号	
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		検査料		奥津直診施設検査料						
3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比	決算	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比			
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	2,561	2,400	2,400	2,200	2,200	その他特財	2,339	2,260	2,163	2,200	2,200	-97			
一般財源						一般財源									
合計	2,561	2,400	2,400	2,200	2,200	合計(A)	2,339	2,260	2,163	2,200	2,200	-97			
財源名称	一部負担金収入				従事正職員人数			2	2	2	2	2			
	事業勘定繰入金				延べ業務事務時間			220	220	220	220				
	後期高齢者医療診療報酬収入				人件費計(千円)(B)			753	740	734	734	734	-6		
	最終予算額		2,400 千円		予算執行率		90.1%		トータルコスト(A+B)		3,092	3,000	2,897	2,934	2,934

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	町民に適切な治療が行えるよう、今後も医師が必要とする検査体制を整えなければならない。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原直診施設検査料	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之	
22102	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・上齋原診療所の血液検査等の委託手数料の支払	平成7年度に現在の福祉センターを建設した際に、歯科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
イ	イ		実績	12,497	12,358	12,116		
			見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 上齋原診療所の受診者数	人	目標	3,500	3,500	1,700	1,700	1,700
イ	イ		実績	1,538	1,533	1,721		
			達成率	43.9%	43.8%	101.2%		101.2%
			目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 上齋原診療所での診療	ア 上齋原診療所の診療日数	日	目標	190	190	190	190	190
イ	イ		実績	153	142	137		
			達成率	80.5%	74.7%	72.1%		72.1%
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 04		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		検査料		上齋原直診施設検査料					
3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比	決算	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比		
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込			
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財	600	600	600	300	300	その他特財	387	298	280	300	300	-18		
一般財源						一般財源								
合計	600	600	600	300	300	合計(A)	387	298	280	300	300	-18		
財源名称	事業勘定繰入金					従事正職員人数	2	2	2	2	2			
	一般会計繰入金					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220			
	後期高齢者医療診療報酬収入					人件費計(千円)(B)	753	740	734	734	734	-6		
	最終予算額		600 千円		予算執行率	46.6%	トータルコスト(A+B)	1,140	1,038	1,014	1,034	1,034	-24	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	町民に適切な治療が行えるよう、今後も医師が必要とする検査体制を整えなければならない。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	富直診施設検査料	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之	
22104	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	柳井 ひとみ
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・富診療所の血液検査等の委託手数料の支払	平成10年の総合福祉センター建設に伴い、歯科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
イ	イ		実績	12,497	12,358	12,116		
			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 富診療所の受診者数	人	目標	2,700	2,700	1,500	1,500	1,500
イ	イ		実績	1,448	1,360	1,445		
			達成率	53.6%	50.4%	96.3%		96.3%
			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 富診療所での診療	ア 富診療所の診療日数	日	目標	150	150	150	150	150
イ	イ		実績	143	142	137		
			達成率	95.3%	94.7%	91.3%		91.3%
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 04		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		検査料		富直診施設検査料					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財	600	600	600	450	450	その他特財	404	326	401	450	450	75		
一般財源						一般財源								
合計	600	600	600	450	450	合計(A)	404	326	401	450	450	75		
財源名称	国民健康保険診療報酬収入					従事正職員人数	2	2	2	2	2			
	一部負担金収入					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220			
	後期高齢者医療診療報酬収入					人件費計(千円)(B)	753	740	734	734	734	-6		
	最終予算額		600 千円	予算執行率		66.8%	トータルコスト(A+B)		1,157	1,066	1,135	1,184	1,184	69

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	町民に適切な治療が行えるよう、今後も医師が必要とする検査体制を整えなければならない。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	総務経常管理費	所管課名	健康推進課	令和 5 年度課長名	石原 靖之
26001	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町後期高齢者医療に関する条例(平成20年条例第14号)	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	後期高齢者医療保険の事務を行う。 例)被保険者証の発送、被保険者証の再交付、認定証の交付、給付申請の受付など	平成20年4月の後期高齢者医療制度施行に伴い開始。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 後期高齢者医療被保険者	ア 後期高齢者医療被保険者数	人	見込 実績	2,650 2,512	2,650 2,566	2,550 2,611	2,550	2,550
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適正な療養の給付	ア 療養費給付件数	件	目標 実績 達成率	68,000 62,650 92.1%	68,000 63,358 93.2%	64,000 66,193 103.4%	64,000	64,000 103.4%
イ 適正な医療費の負担をしてもらう	イ 療養給付費の支払い金額	千円	目標 実績 達成率	2,292,000 2,232,868 97.4%	2,292,000 2,191,140 95.6%	2,200,000 2,331,886 106.0%	2,200,000	2,200,000 106.0%

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 保険資格業務	ア 被保険者証の発送件数	件	目標 実績 達成率	2,600 2,510 96.5%	2,600 2,515 96.7%	2,600 2,572 98.9%	2,600	2,600 98.9%
イ 資格・給付業務	イ 各種申請書等の受付件数	件	目標 実績 達成率	800 760 95.0%	800 713 89.1%	800 994 124.3%	800	800 124.3%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 26		款 01		項 01		目 01		大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	後期高齢者医療特別会計		総務費		総務管理費		一般管理費		01	01	総務経常管理費					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財	2,528	2,639	2,452			-187	その他特財	2,265	2,381	2,391			10			
一般財源							一般財源									
合計	2,528	2,639	2,452			-187	合計(A)	2,265	2,381	2,391			10			
財源名称	事務費繰入金						従事正職員人数	1	3	1	1	1	-2			
							延べ業務事務時間	1,860	930	930	930	930				
							人件費計(千円)(B)	6,363	3,127	3,102	3,102	3,102	-25			
	最終予算額		2,452 千円		予算執行率	97.5%		トータルコスト(A+B)	8,628	5,508	5,493	3,102	3,102	-15		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	法・条例に従い、適切に実施できている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	